

牧之原市ため池ハザードマップ
(榛原地区)

目 次

◆情報面	1
◆赤坂池	2
◆旭ヶ谷池	3
◆水ヶ谷池	4
◆万代池	5
◆三亀ヶ谷池	6
◆楠ヶ谷池	7
◆外之久保池	8
◆堂ヶ谷池	9
◆一ノ谷池・二ノ谷池	10
◆小仁田池	11
◆橋柄池	12
◆八ヶ谷池	13
◆大沼池	14
◆大ヶ谷池	15
◆伏方池	16
◆古池奥池・古池・新西ノ谷池	17
◆智生寺池	18
◆上庄内池	19
◆沢川池	20
◆桃原一池	21
◆桃原二池	22
◆本谷池	23
◆荒谷池	24
◆千頭ヶ谷池	25
◆池ヶ谷池	26
◆マ子ヶ谷池	27

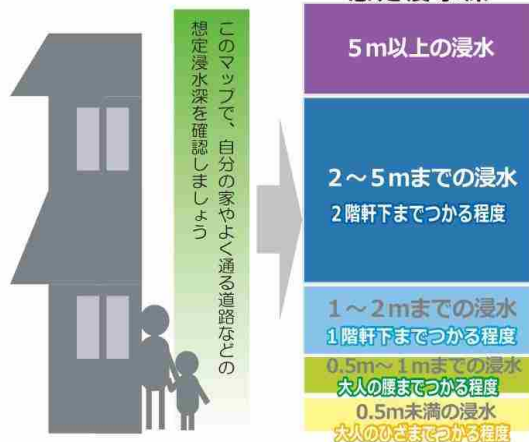
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので、安全が確認されるまでは十分注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならぬ場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

基本的な考え方

避難のために外出する方が、むしろ危険な場合もあります。市から発令される避難情報に注意して、避難所へ避難するか、屋内の比較的安全な場所(2階等)にとどまるなど、命を守るための判断・行動をとってください。

想定浸水深



避難の流れ

- 必ず浸水しない場所(避難所、道路、空き地など)に移動**
 - 事前に話し合った避難先へ移動を!
 - 動きやすい服装で!
 - お年寄りなどの避難に協力しよう
- 少なくとも自宅の2階や近くの高い建物に移動**
 - 非常持出品等を持って上がる
- 必ず自宅にとどまる**

牧之原市ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップとは

一定の条件を想定して、ため池が決壊した場合の被害を予測し、被害範囲を地図に示したものです。

全国のため池の多くは老朽化が進み、近年、局地的な大雨や大規模な地震などによる被害が各地で発生しています。また、過疎化や高齢化が進み、ため池の適切な管理や、緊急時の情報伝達が的確に行われない懸念が生じています。

ため池が決壊する恐れのある場合、または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するための参考資料として、「ため池ハザードマップ」を作成する必要があります。

ハザードマップを作成すると・・・

日頃の防災意識を高めることができます

あらかじめ避難先を家族と話し合い、ため池決壊がおこりうることを、頭の隅においておくことで、被害を防ぐことができます。

地域が抱える危険を、みんなで考えることができます

地域の防災対策の基礎資料となります。また、となり近所で助け合うことができます。

災害が起きたときに、すばやく的確な避難ができます

単に早く避難すればよいとは限りません。状況によって、避難しないほうがよい場合もあります。

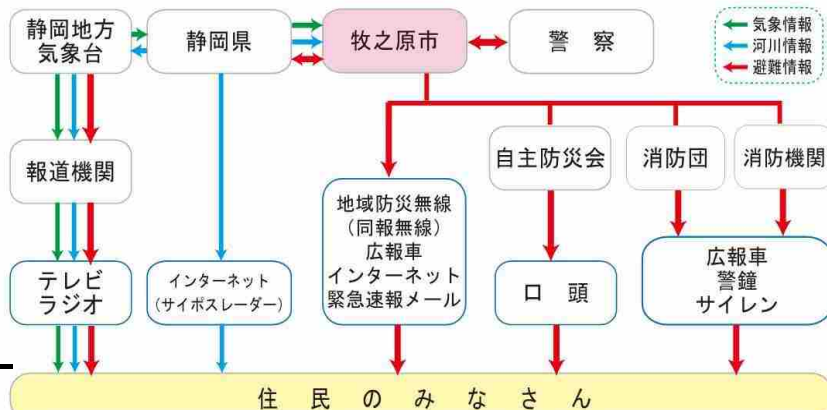
避難情報のレベルと取るべき行動

避難情報には、緊急度に応じて5つのレベルがあります。どのような違いがあるか確認しておきましょう。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
早期注意情報 (警戒級の可能性) 災害への心構えを高め、最新の気象情報に注意してください。	大雨注意報 洪水注意報 ハザードマップ等で避難場所や避難経路を再確認してください。	高齢者等避難 お年寄りや身体の不自由な方などは避難を始めてください。	避難指示 すみやかに安全な場所へ避難してください。	緊急安全確保 命を守る最善の行動をとってください。

避難情報に注意しましょう

避難情報は、さまざまな経路で住民のみなさんに伝えられます。複数の情報源から正しい情報を得るようにしましょう。



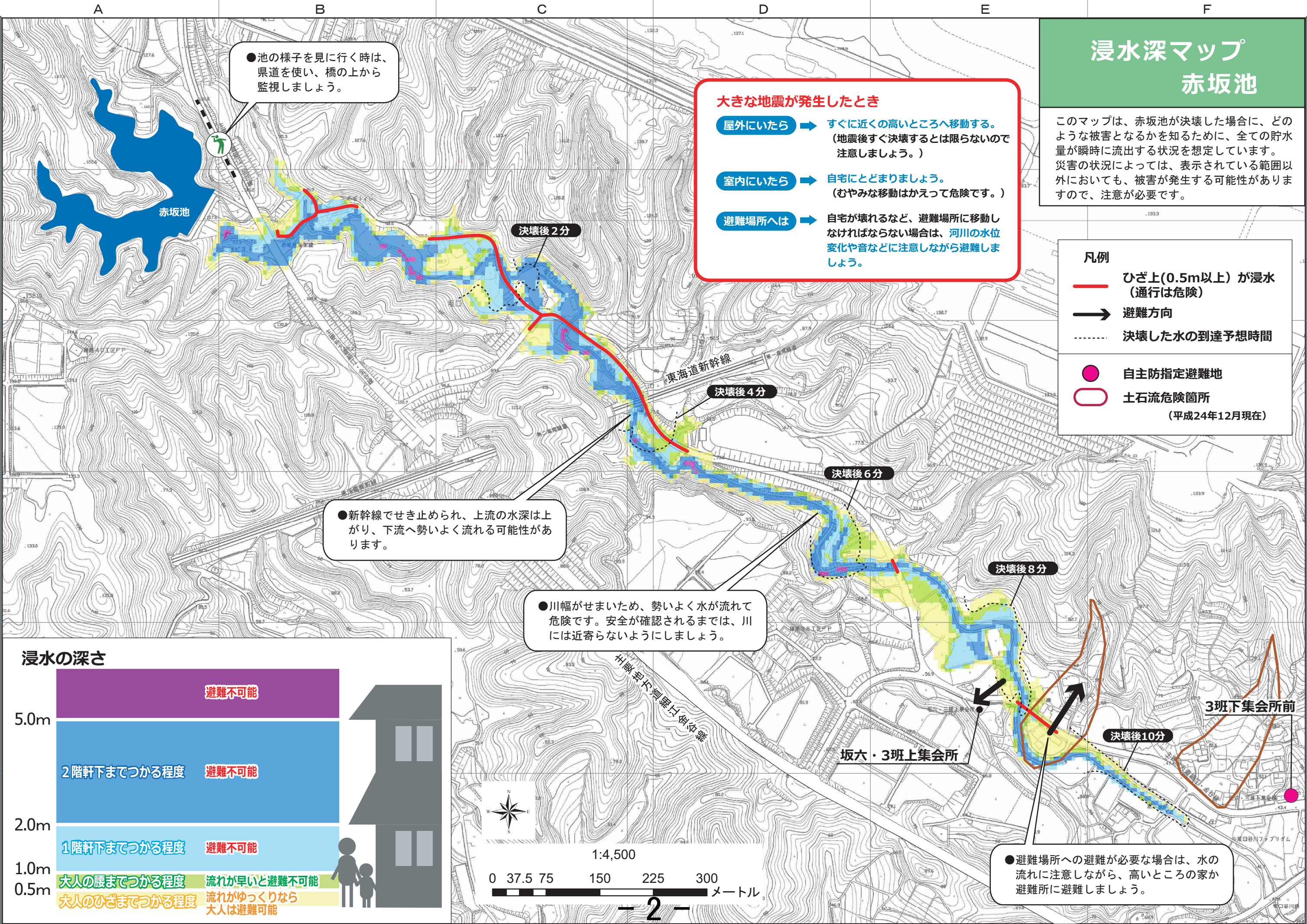
浸水深マップ 赤坂池

このマップは、赤坂池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → **すぐに近くの高いところへ移動する。**
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → **自宅にとどまりましょう。**
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → **自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。**

- 凡例**
- ひざ上(0.5m以上)が浸水(通行は危険)
 - 避難方向
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地
 - 土石流危険箇所(平成24年12月現在)

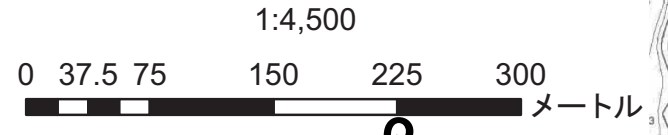
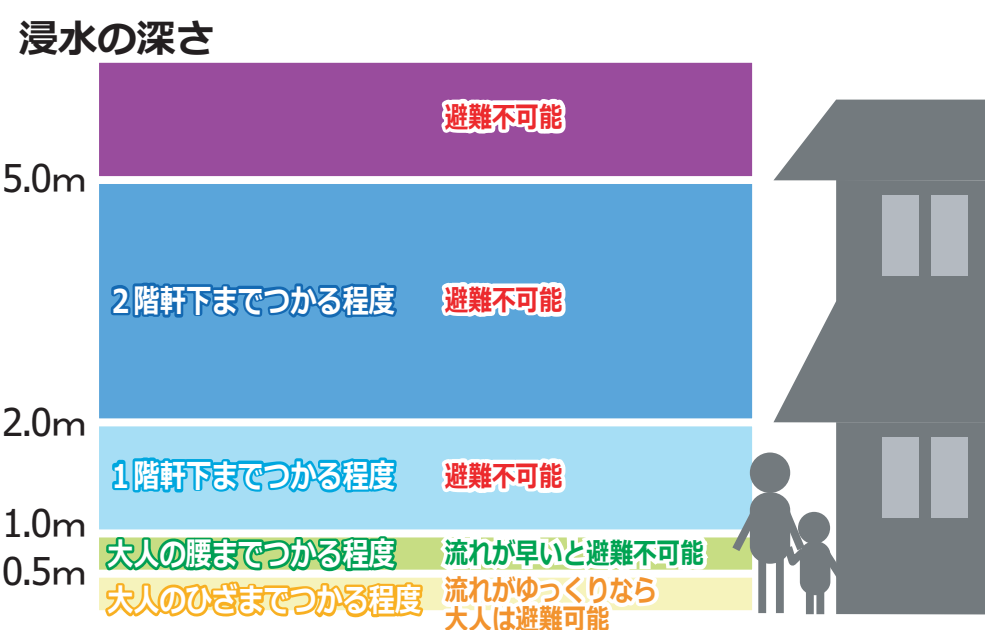


●池の様子を見に行く時は、県道を使い、橋の上から監視しましょう。

●新幹線でせき止められ、上流の水深は上がり、下流へ勢いよく流れる可能性があります。

●川幅がせまいため、勢いよく水が流れて危険です。安全が確認されるまでは、川には近寄らないようにしましょう。

●避難場所への避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、高いところの家が避難所に避難しましょう。



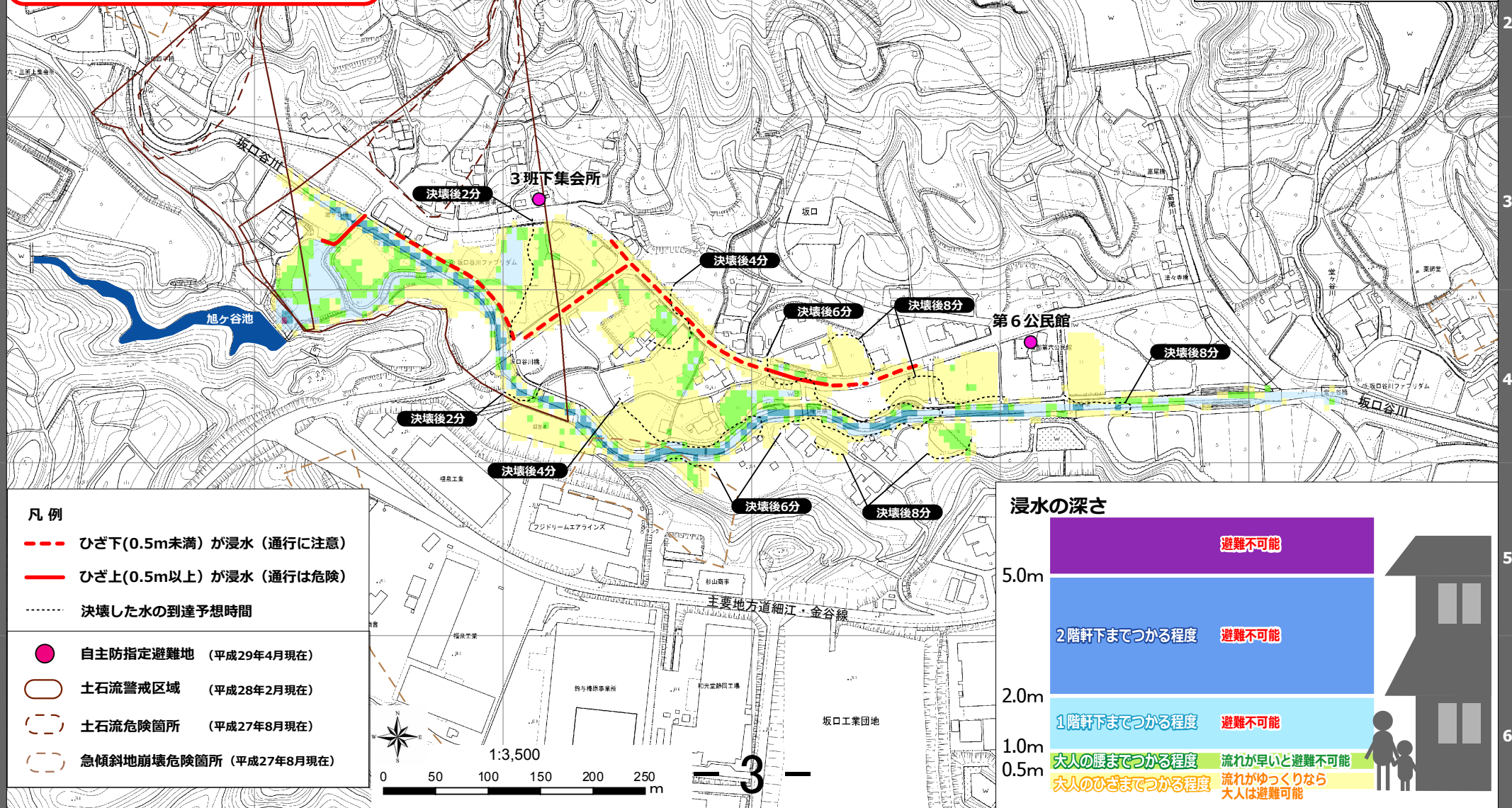
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 旭ヶ谷池

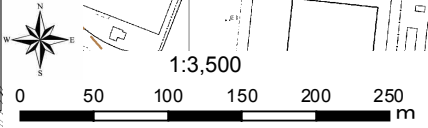
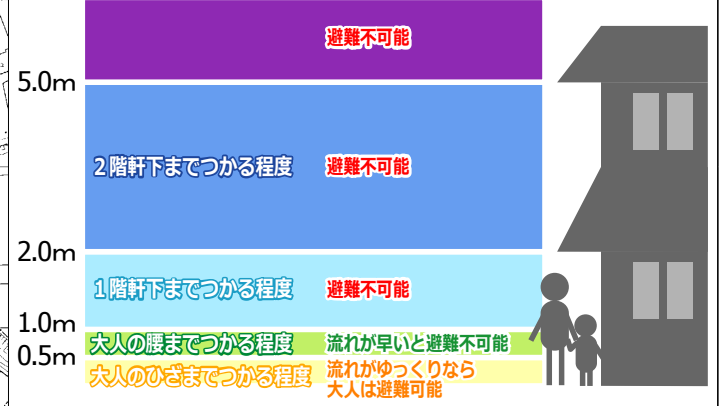
平成30年1月作成

このマップは、旭ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

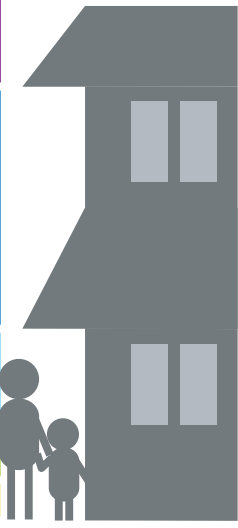
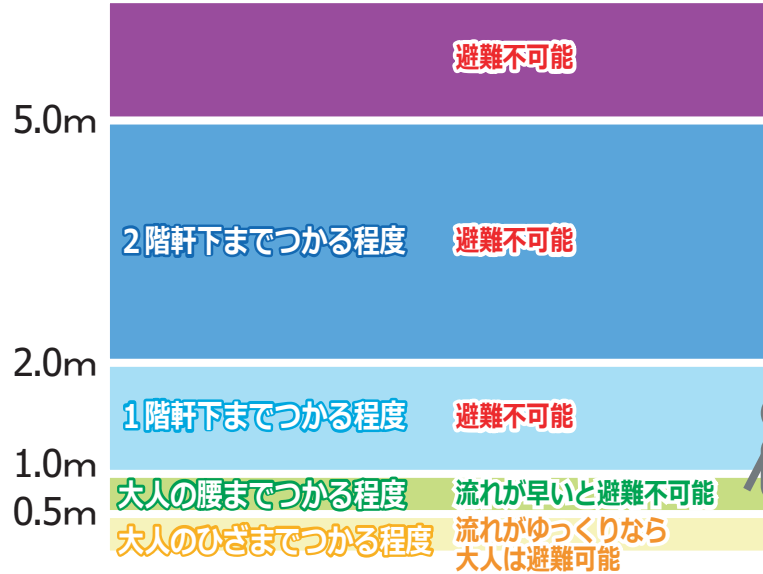


- 凡例**
- ひざ下(0.5m未満)が浸水(通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水(通行は危険)
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
 - 土石流警戒区域 (平成28年2月現在)
 - 土石流危険箇所 (平成27年8月現在)
 - 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)

浸水の深さ



浸水の深さ



浸水深マップ 水ヶ谷池

このマップは、水ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

●避難場所への避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、「旧一班集会所」に避難しましょう。

●避難場所への避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、「18番組集会所」に避難しましょう。

●池の様子を見に行く時は迂回して、工業用地側や高台の農地側から監視しましょう。

●水ヶ谷ふれあい公園に人がいたら、すぐに高いところへ避難するように声をかけましょう。
●注意看板を設置しましょう。

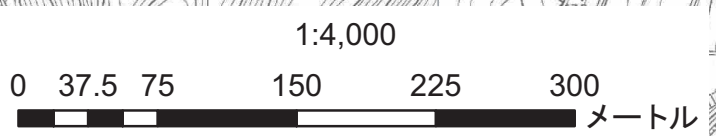
●谷を横断する道を通っている時に池が決壊すると非常に危険です。

●避難場所への避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、「農事組合法人さかぐち」に避難しましょう。
●「18番組集会所」へは、安全が確保されたことを確認して避難しましょう。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら → すぐに近くの高いところへ移動する。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

- 凡例**
- ひざ上(0.5m以上)が浸水(通行は危険)
 - 避難方向
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地
 - 土石流危険箇所
 - 山腹崩壊危険地区
(平成24年12月現在の指定地を、現地調査をもとに修正)



浸水深マップ 万代池

平成30年1月作成

このマップは、万代池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

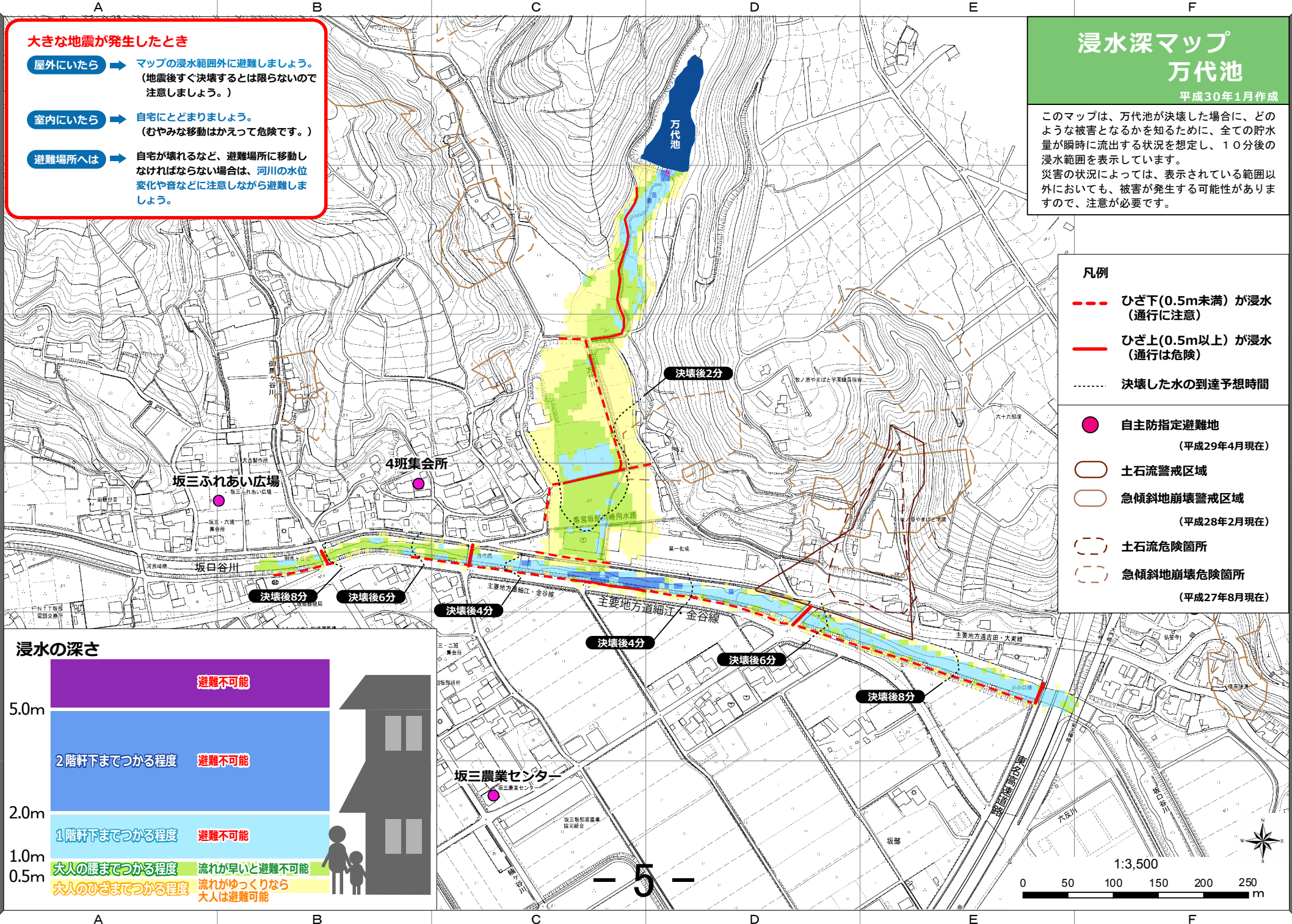
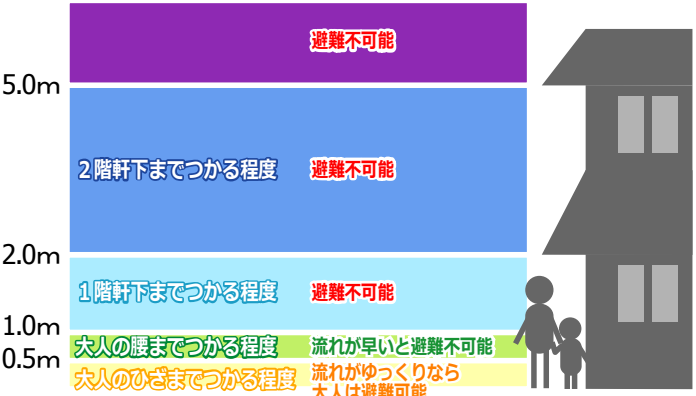
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならぬ場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
-** 決壊した水の到達予想時間
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 土石流危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)

浸水の深さ



浸水深マップ 三亀ヶ谷池

このマップは、三亀ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → すぐに近くの高いところへ移動する。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、**河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。**

●両側の土地が高く、流路が狭くなっているため、上流の水深が上がり、下流へ勢いよく流れる可能性があります。

●むやみに道路に出ると危険です。北側の高いところに避難しましょう。

●池の様子を見に行く時は迂回して、高台の農地側から監視しましょう。

●川は浸水深が深いため、南側のより高いところに移動しましょう。

決壊後2分

決壊後4分

決壊後6分

決壊後8分

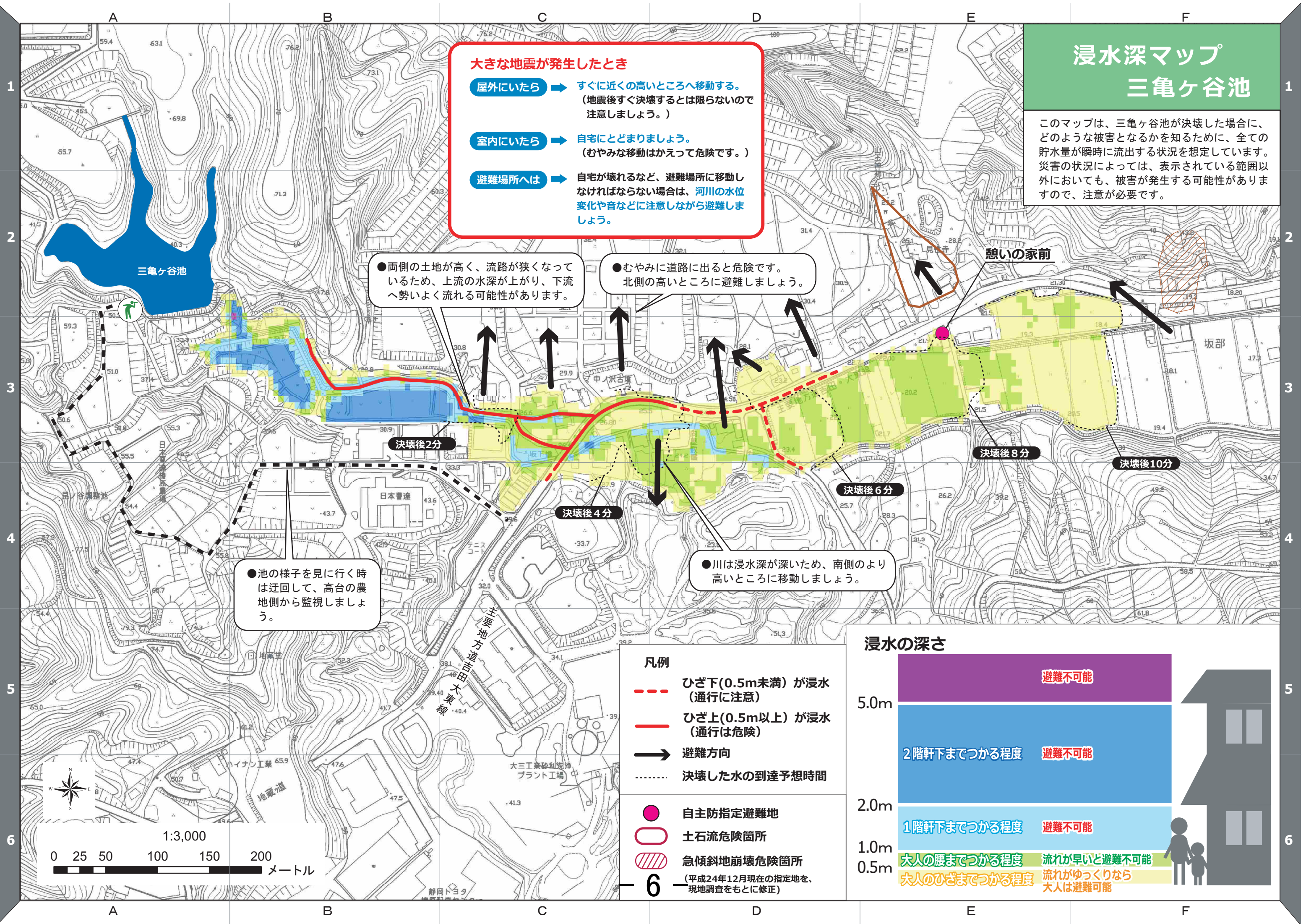
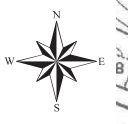
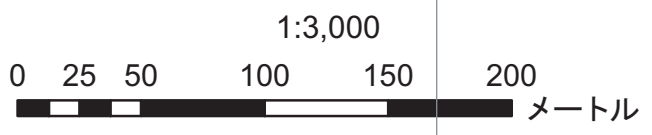
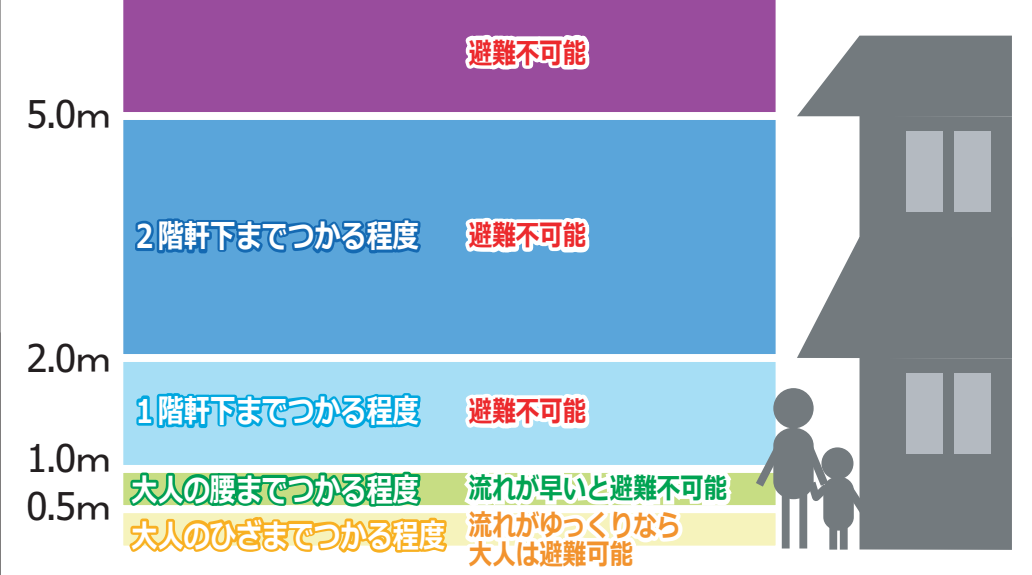
決壊後10分

凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 避難方向
- 決壊した水の到達予想時間

- 自主防指定避難地
 - 土石流危険箇所
 - ▨ 急傾斜地崩壊危険箇所
- 6 (平成24年12月現在の指定地を、現地調査をもとに修正)

浸水の深さ



浸水の深さ



ため池ハザードマップ

くすがやいけ
楠ヶ谷池

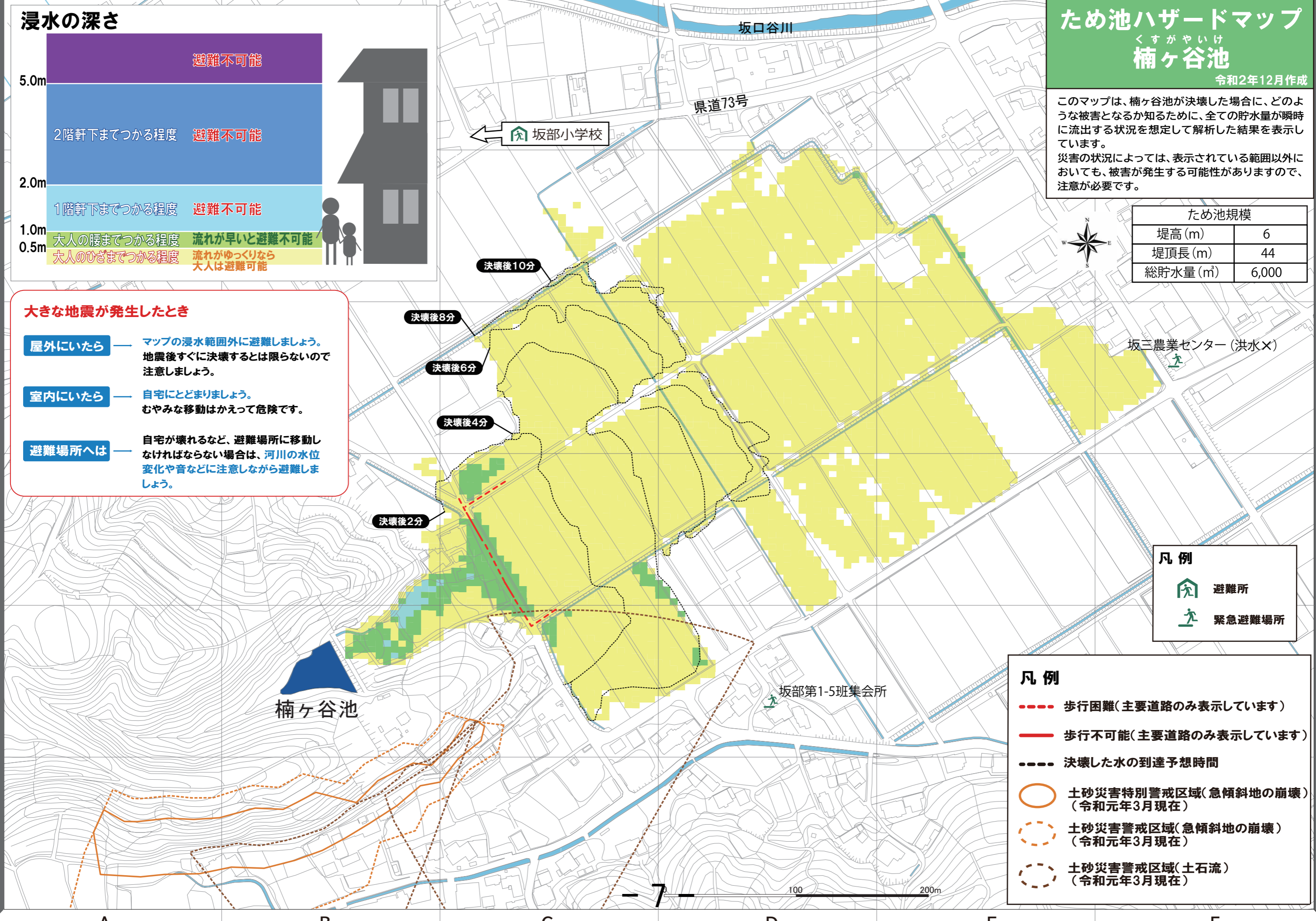
令和2年12月作成

このマップは、楠ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるか知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定して解析した結果を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

ため池規模	
堤高 (m)	6
堤頂長 (m)	44
総貯水量 (m ³)	6,000

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** — マップの浸水範囲外に避難しましょう。地震後すぐに決壊するとは限らないので注意しましょう。
- 室内にいたら** — 自宅にとどまりましょう。むやみな移動はかえって危険です。
- 避難場所へは** — 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

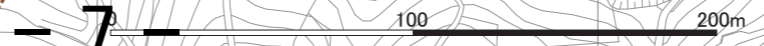


凡例

- 避難所
- 緊急避難場所

凡例

- 歩行困難(主要道路のみ表示しています)
- 歩行不可能(主要道路のみ表示しています)
- 決壊した水の到達予想時間
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
- 土砂災害警戒区域(土石流)(令和元年3月現在)

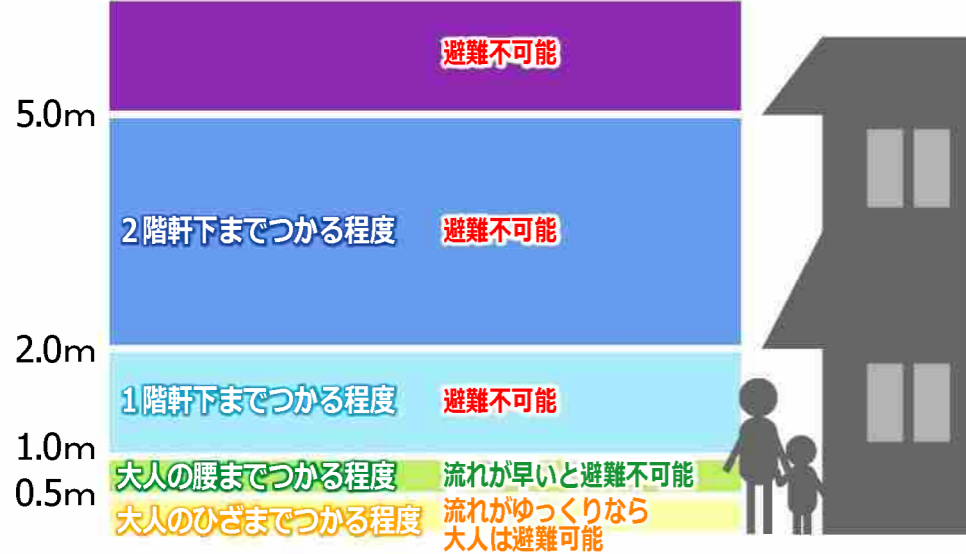


浸水深マップ 外之久保池

平成27年1月作成

このマップは、外之久保池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

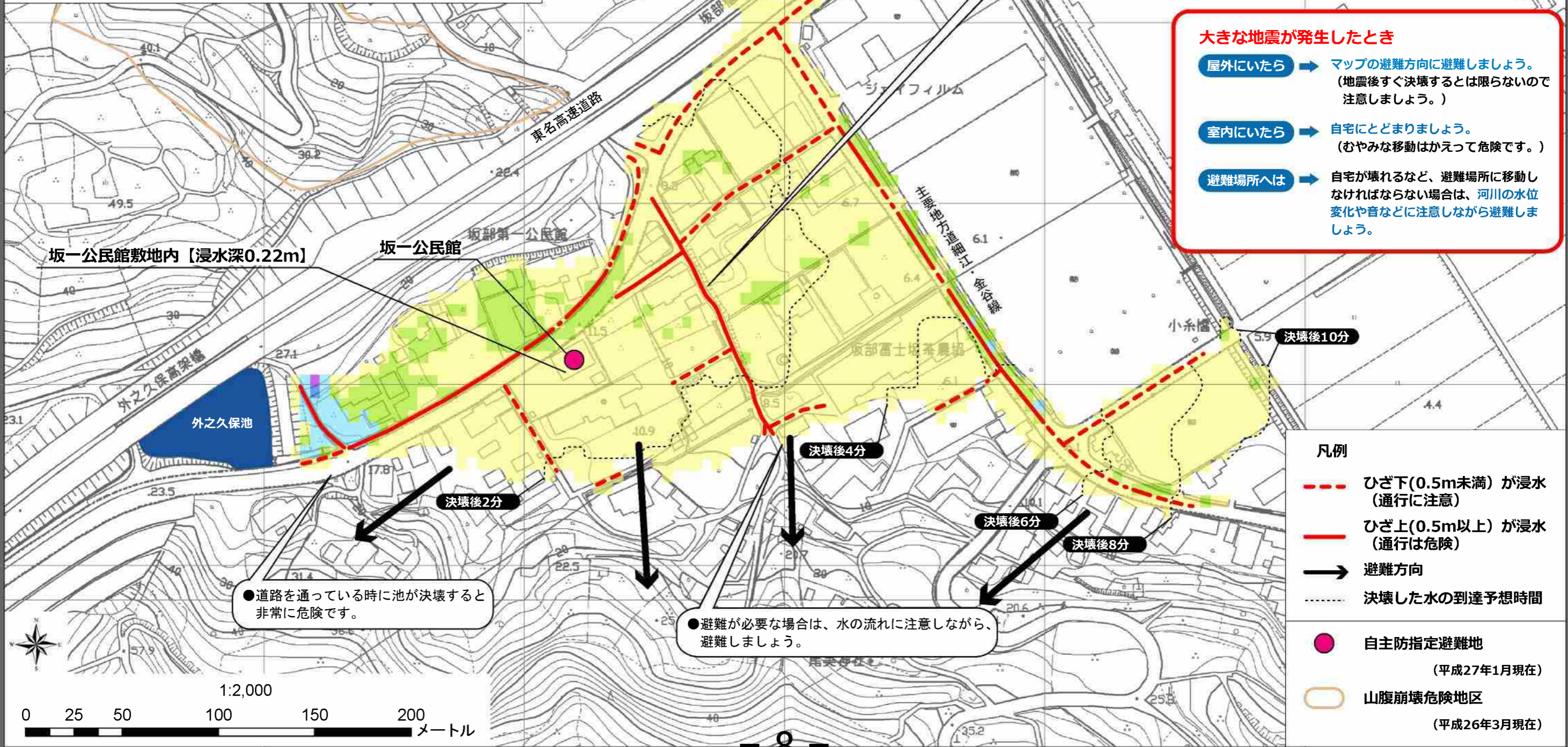
浸水の深さ



●ため池の水が流れ込んで、水路の水が勢いよく流れる危険があります。安全が確認されるまでは、水路に近づかないようにしましょう。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら → マップの避難方向に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。



坂一公民館敷地内【浸水深0.22m】

坂一公民館

●道路を通っている時に池が決壊すると非常に危険です。

●避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、避難しましょう。

- 凡例**
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
 - 避難方向
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地 (平成27年1月現在)
 - 山腹崩壊危険地区 (平成26年3月現在)

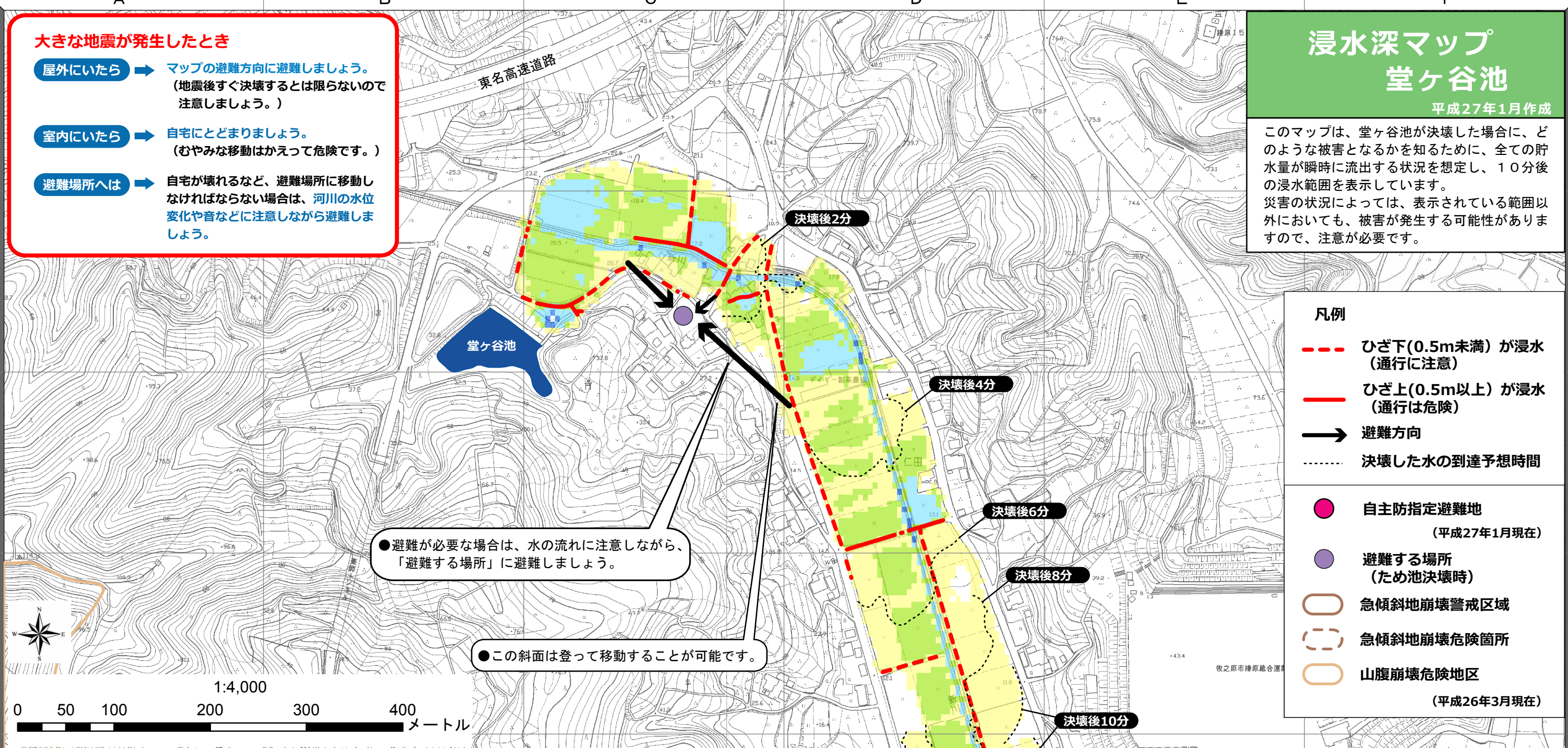
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの避難方向に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

**浸水深マップ
堂ヶ谷池**

平成27年1月作成

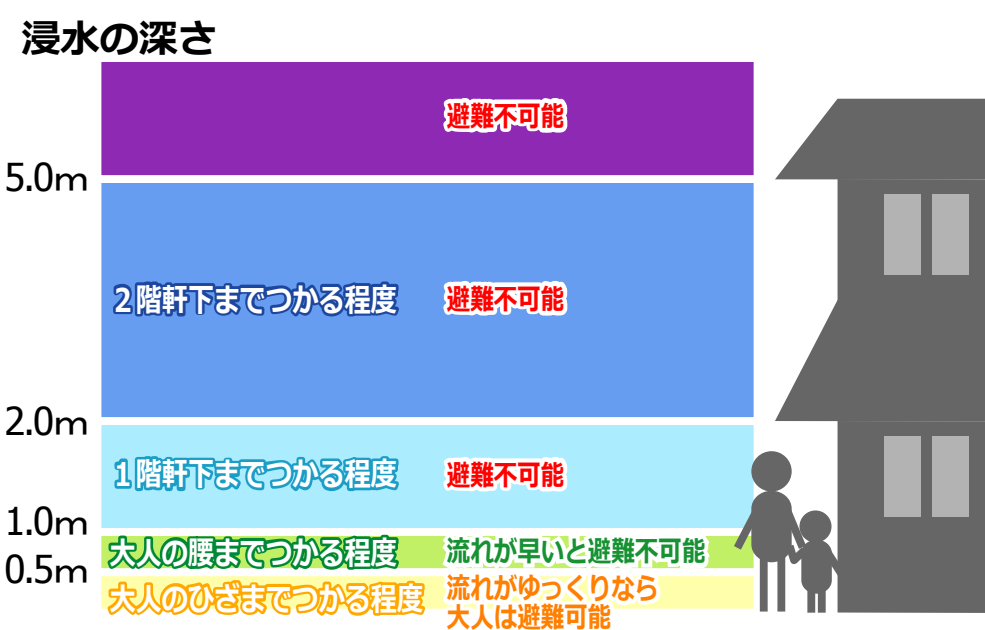
このマップは、堂ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



●避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、「避難する場所」に避難しましょう。

●この斜面は登って移動することが可能です。

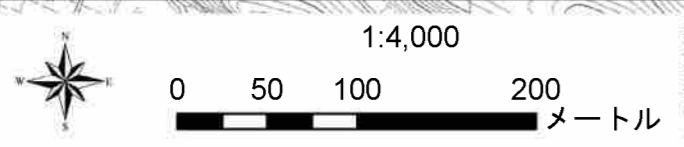
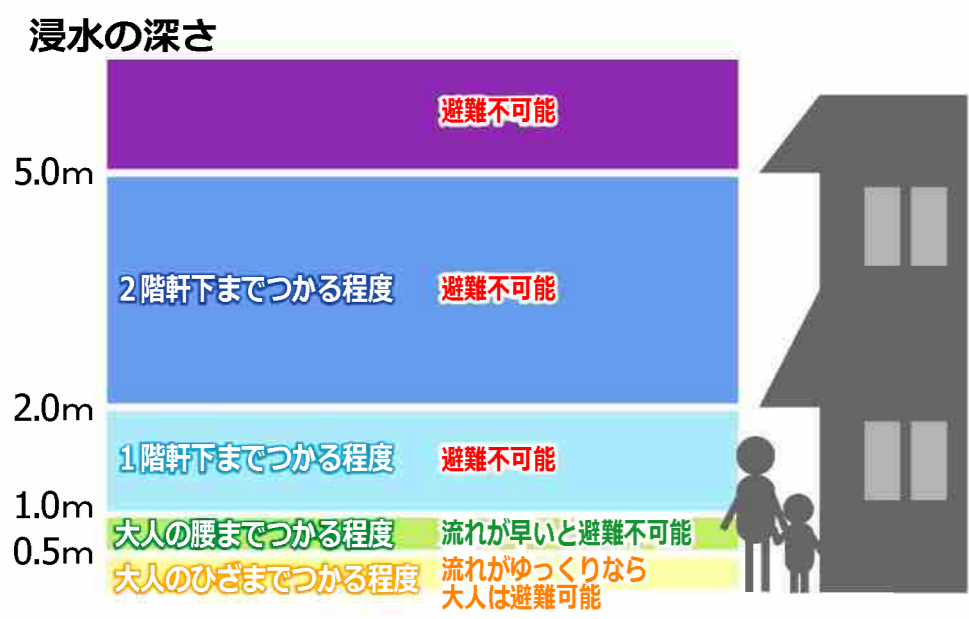
- 凡例**
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
 - 避難方向
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地 (平成27年1月現在)
 - 避難する場所 (ため池決壊時)
 - 急傾斜地崩壊警戒区域
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 山腹崩壊危険地区 (平成26年3月現在)



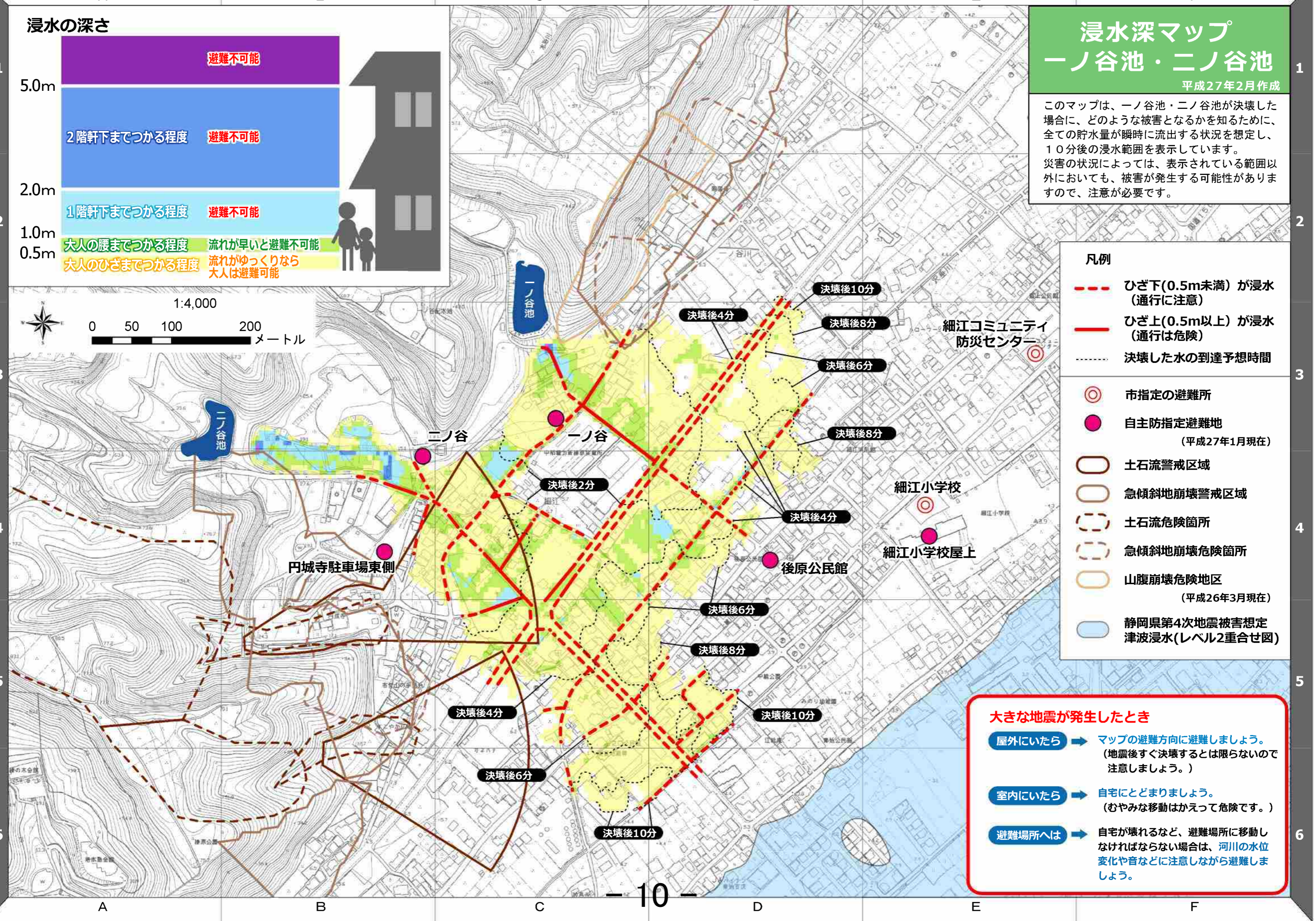
浸水深マップ 一ノ谷池・二ノ谷池

平成27年2月作成

このマップは、一ノ谷池・二ノ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



- ### 凡例
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 市指定の避難所
 - 自主防指定避難地 (平成27年1月現在)
 - 土石流警戒区域
 - 急傾斜地崩壊警戒区域
 - 土石流危険箇所
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 山腹崩壊危険地区 (平成26年3月現在)
 - 静岡県第4次地震被害想定津波浸水(レベル2重合せ図)



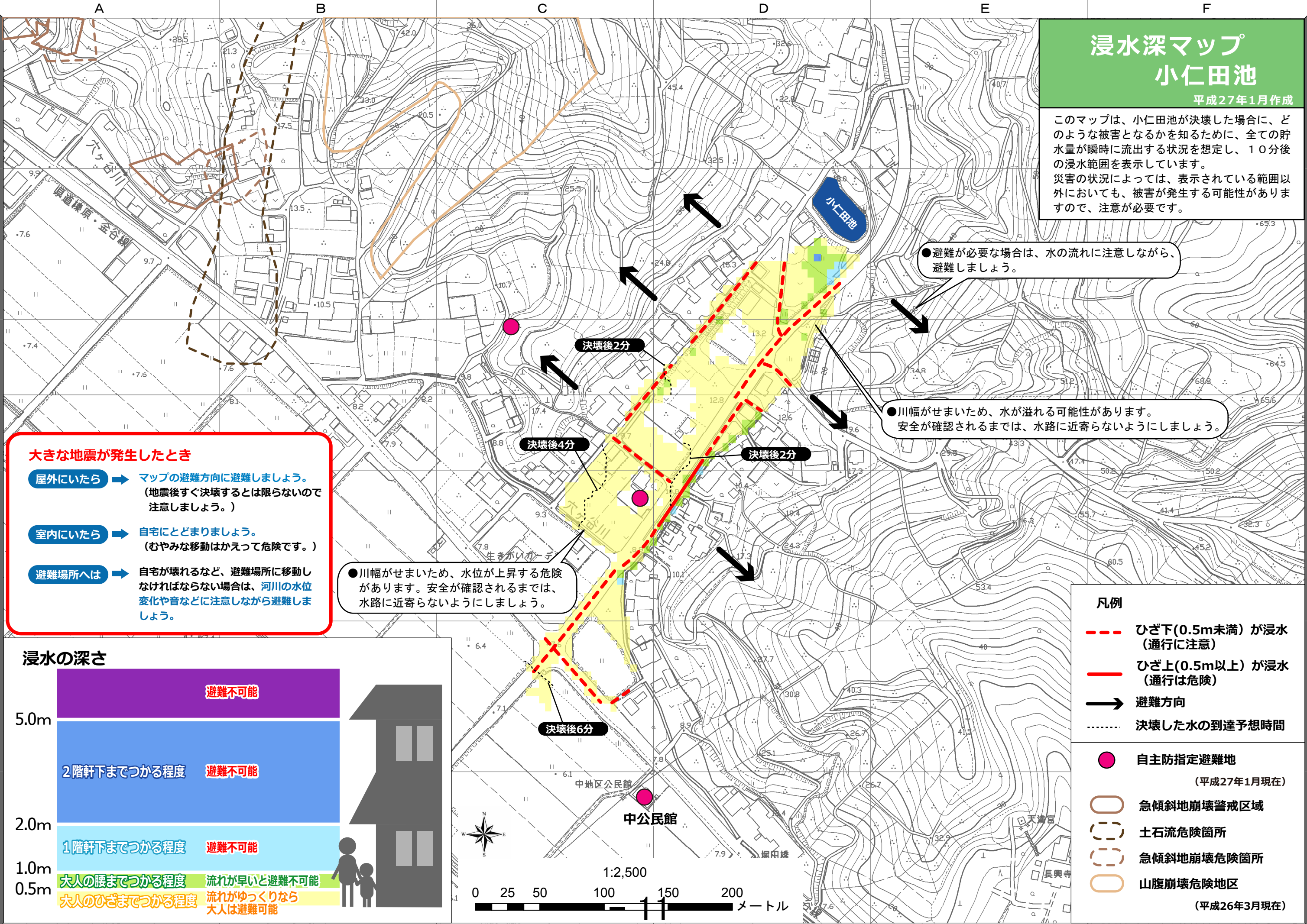
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの避難方向に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所へ移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 小仁田池

平成27年1月作成

このマップは、小仁田池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



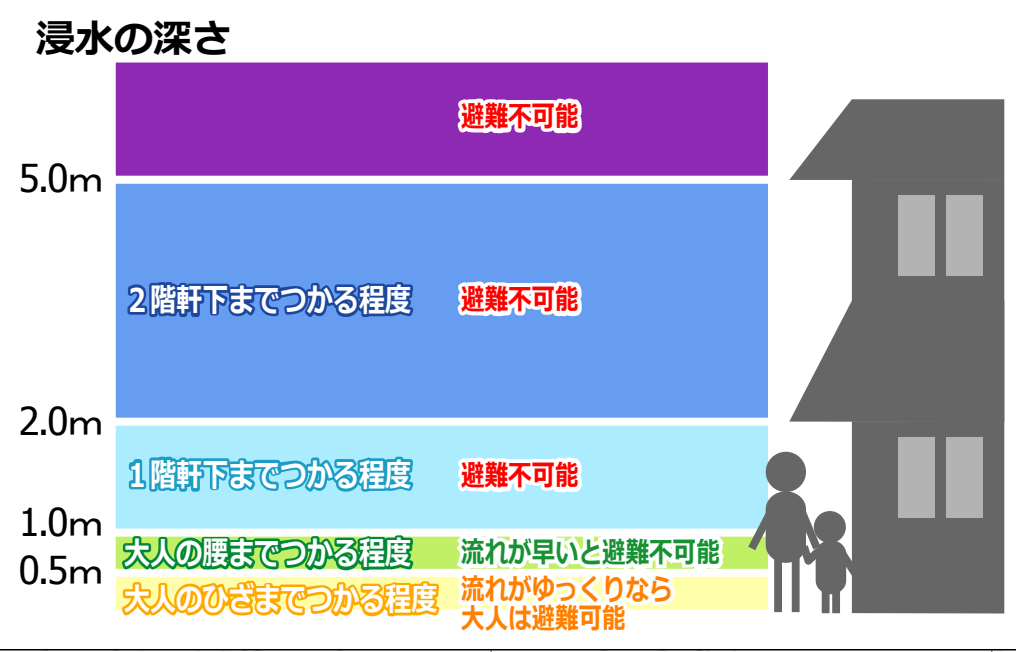
●避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、避難しましょう。

●川幅がせまいため、水が溢れる可能性があります。安全が確認されるまでは、水路に近寄らないようにしましょう。

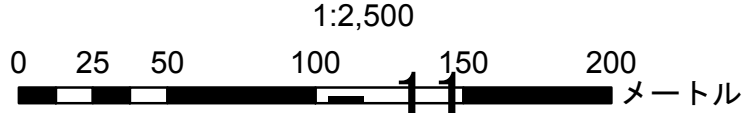
●川幅がせまいため、水位が上昇する危険があります。安全が確認されるまでは、水路に近寄らないようにしましょう。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの避難方向に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所へ移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。



- 凡例**
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
 - 避難方向
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地 (平成27年1月現在)
 - 急傾斜地崩壊警戒区域
 - 土石流危険箇所
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 山腹崩壊危険地区 (平成26年3月現在)



浸水深マップ 橋柄池

平成30年1月作成

このマップは、橋柄池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

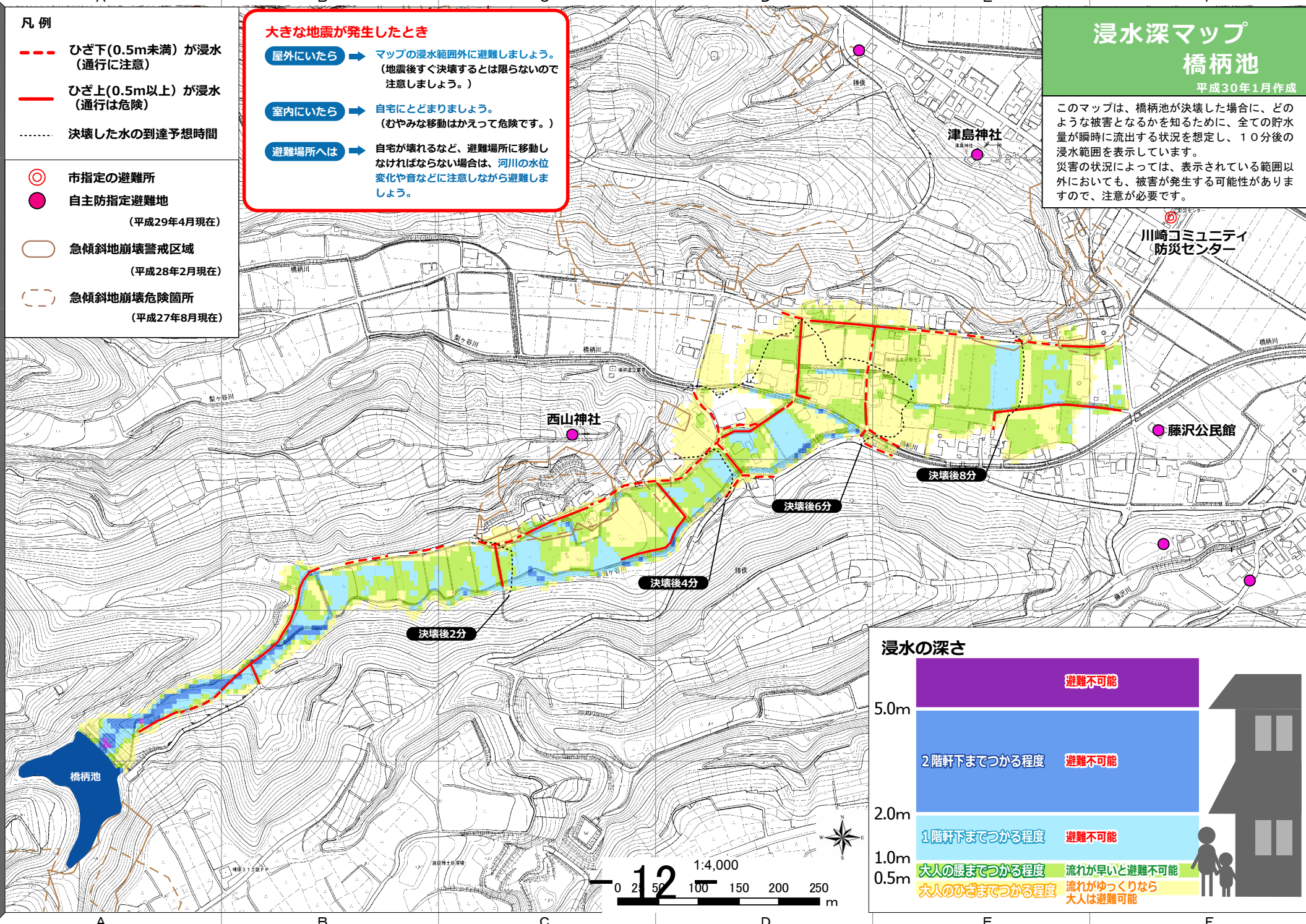
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

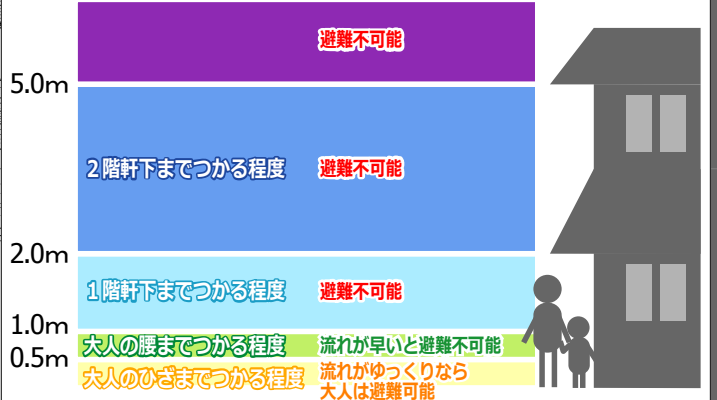
凡例

- ひげ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひげ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 決壊した水の到達予想時間

- ◎ 市指定の避難所
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)



浸水の深さ



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの避難方向に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所へ移動しなければならない場合は、**河川の水位変化や音などに注意しながら**避難しましょう。

浸水深マップ 八ヶ谷池

平成27年1月作成

このマップは、八ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

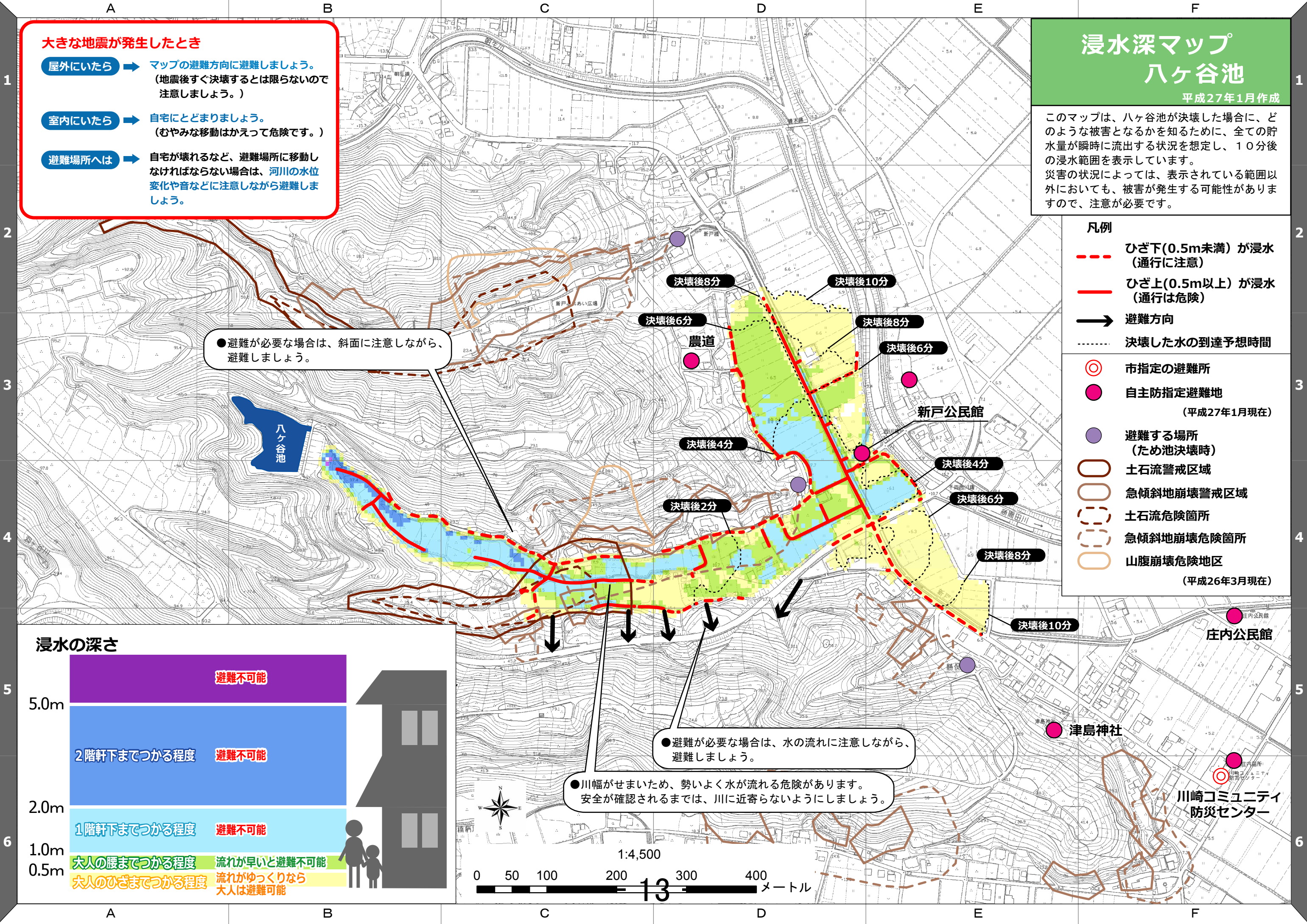
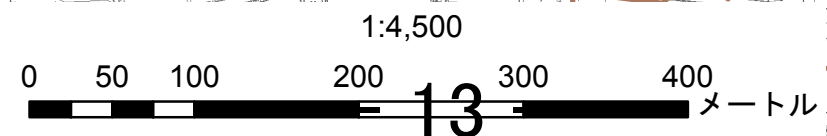
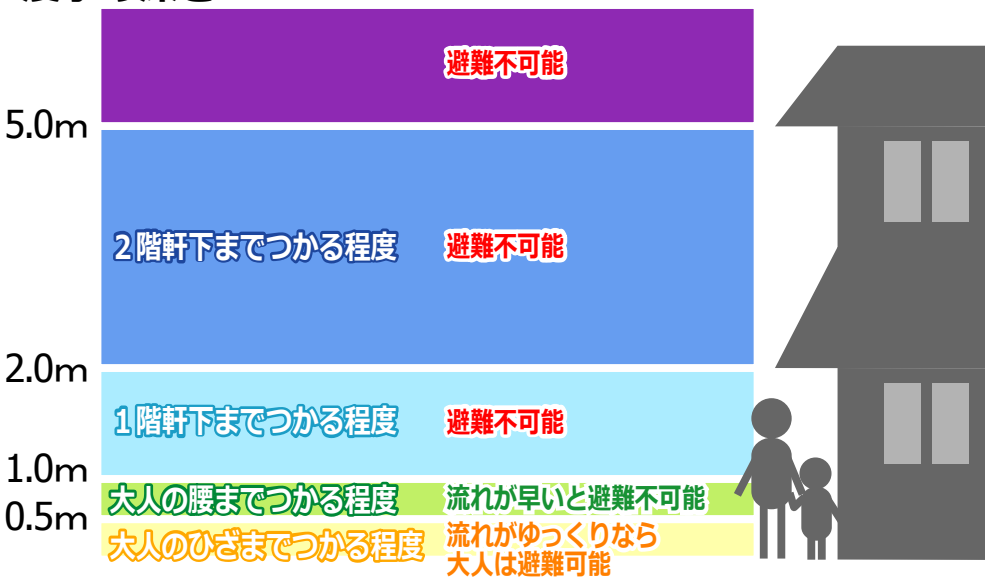
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 避難方向
-** 決壊した水の到達予想時間
- ◎** 市指定の避難所
- 自主防指定避難地 (平成27年1月現在)
- 避難する場所 (ため池決壊時)
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域
- 土石流危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 山腹崩壊危険地区 (平成26年3月現在)

●避難が必要な場合は、斜面に注意しながら、避難しましょう。

●川幅がせまいため、勢いよく水が流れる危険があります。安全が確認されるまでは、川に近寄らないようにしましょう。

●避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、避難しましょう。

浸水の深さ



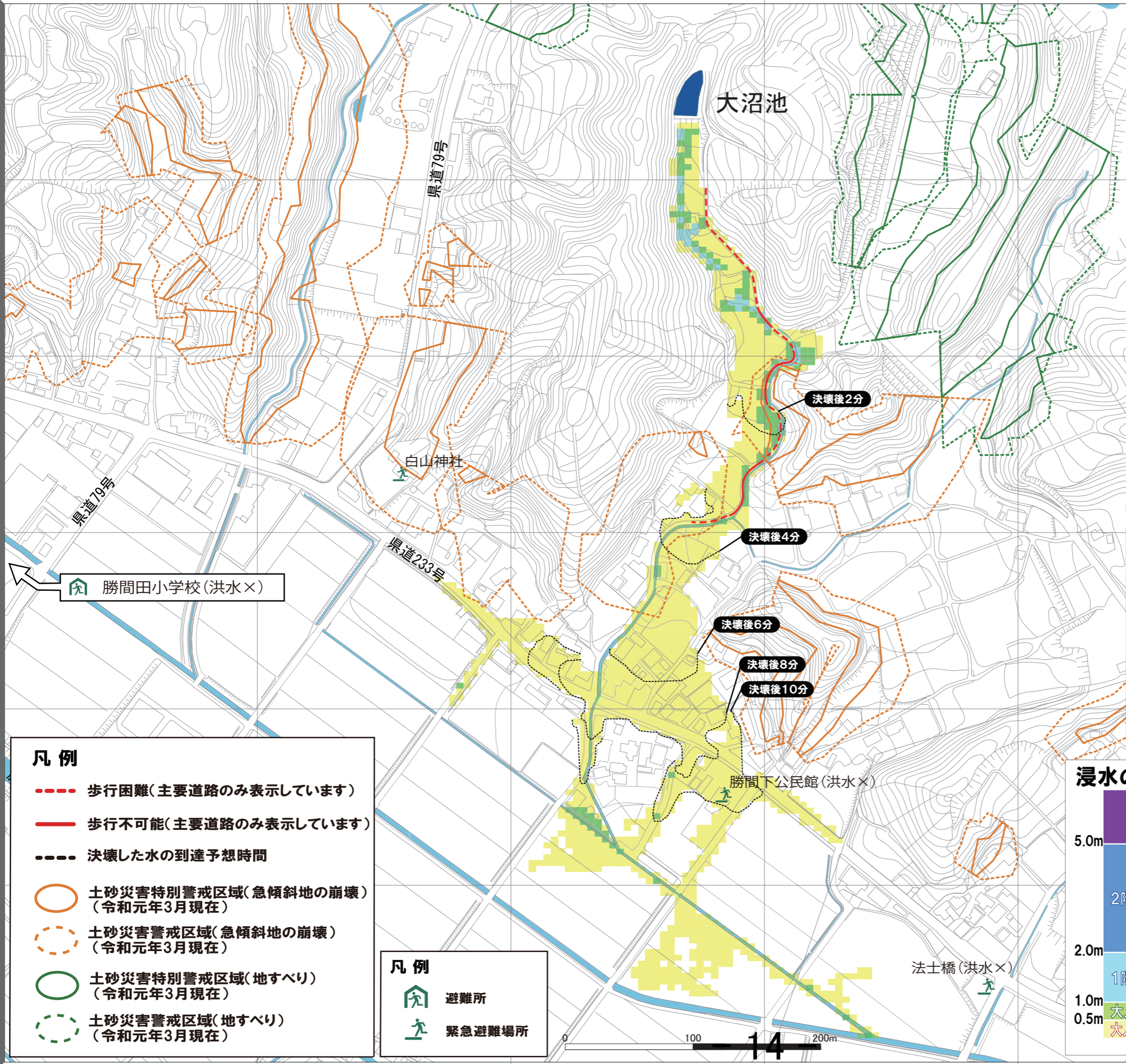
ため池ハザードマップ

おおぬまいけ
大沼池

令和3年1月作成

このマップは、大沼池が決壊した場合に、どのような被害となるか知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定して解析した結果を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

ため池規模	
堤高(m)	5.3
堤頂長(m)	28
総貯水量(m ³)	2,000



大きな地震が発生したとき

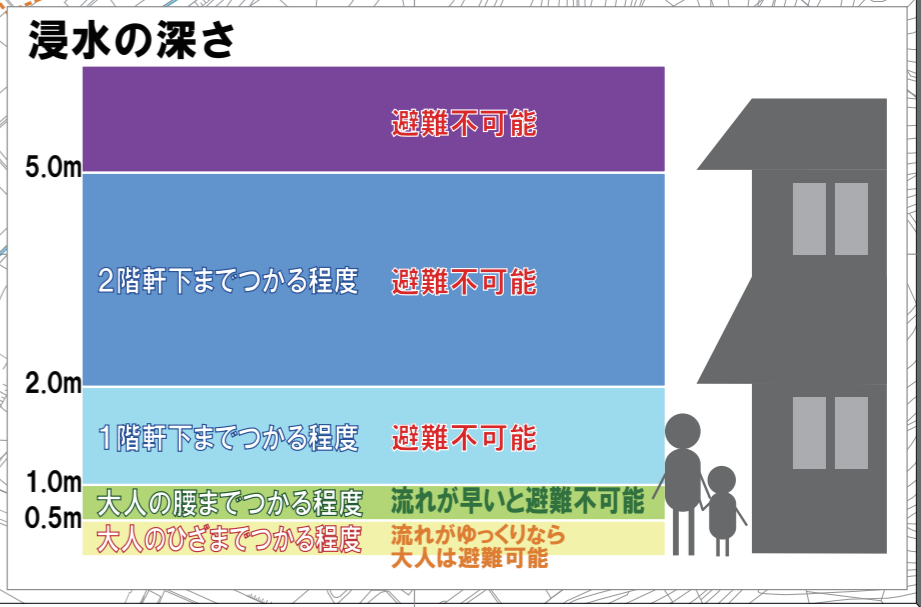
- 屋外にいたら** — マップの浸水範囲外に避難しましょう。地震後すぐに決壊するとは限らないので注意しましょう。
- 室内にいたら** — 自宅にとどまりましょう。むやみな移動はかえって危険です。
- 避難場所へは** — 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

凡例

- 歩行困難(主要道路のみ表示しています)
- 歩行不可能(主要道路のみ表示しています)
- 決壊した水の到達予想時間
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
- 土砂災害特別警戒区域(地すべり)(令和元年3月現在)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)(令和元年3月現在)

凡例

- 🏠 避難所
- 🚶 緊急避難場所



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならぬ場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 大ケ谷池

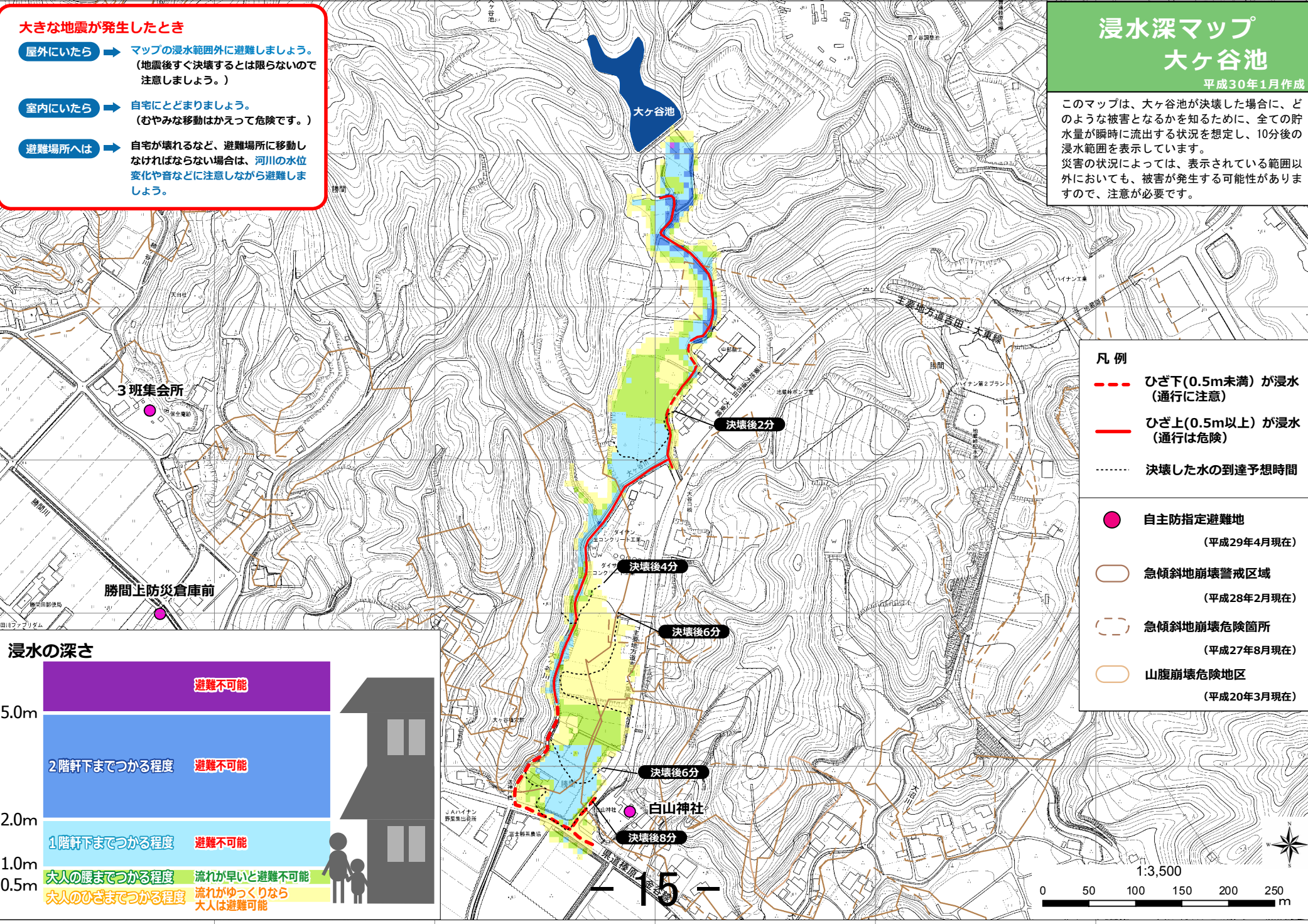
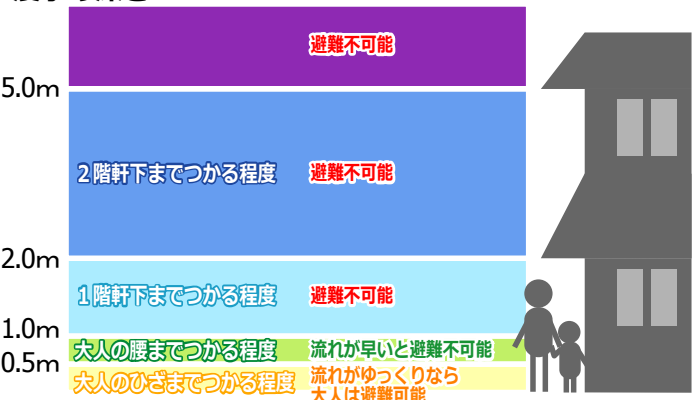
平成30年1月作成

このマップは、大ケ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 決壊した水の到達予想時間
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)
- 山腹崩壊危険地区 (平成20年3月現在)

浸水の深さ



浸水深マップ 伏方池

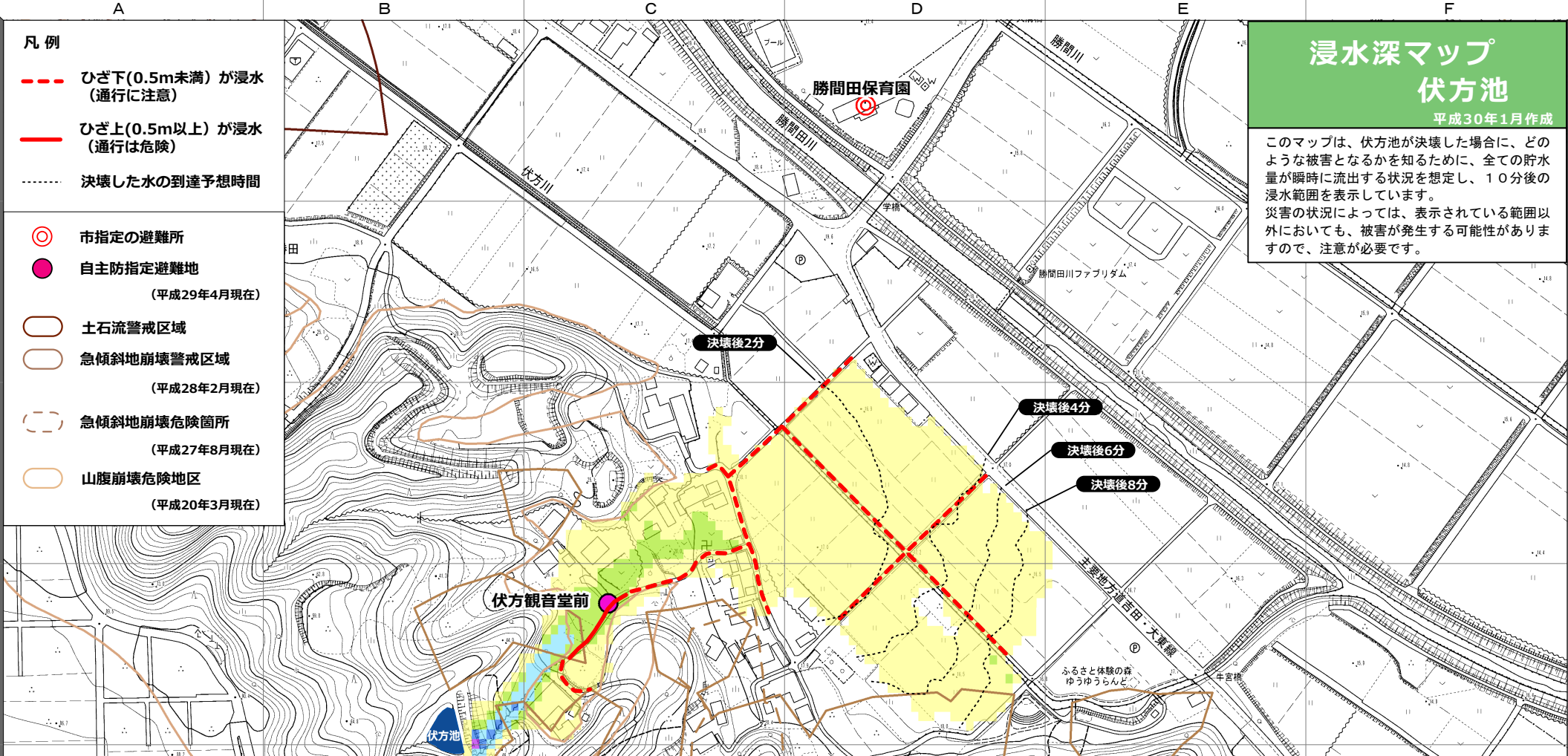
平成30年1月作成

このマップは、伏方池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 決壊した水の到達予想時間

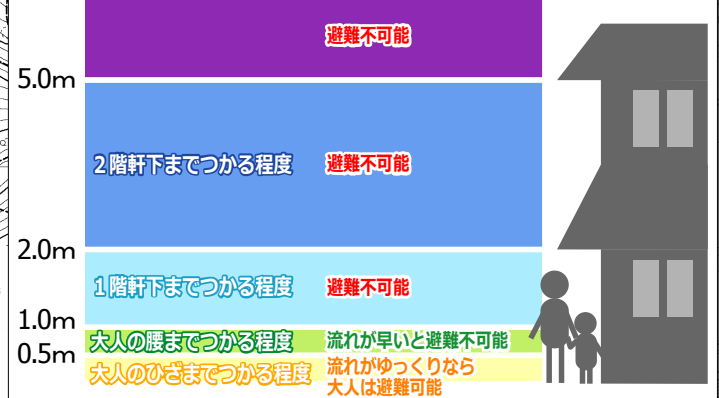
- ◎ 市指定の避難所
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)
- 山腹崩壊危険地区 (平成20年3月現在)



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水の深さ



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならぬ場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 新西ノ谷池・古池・古池奥池

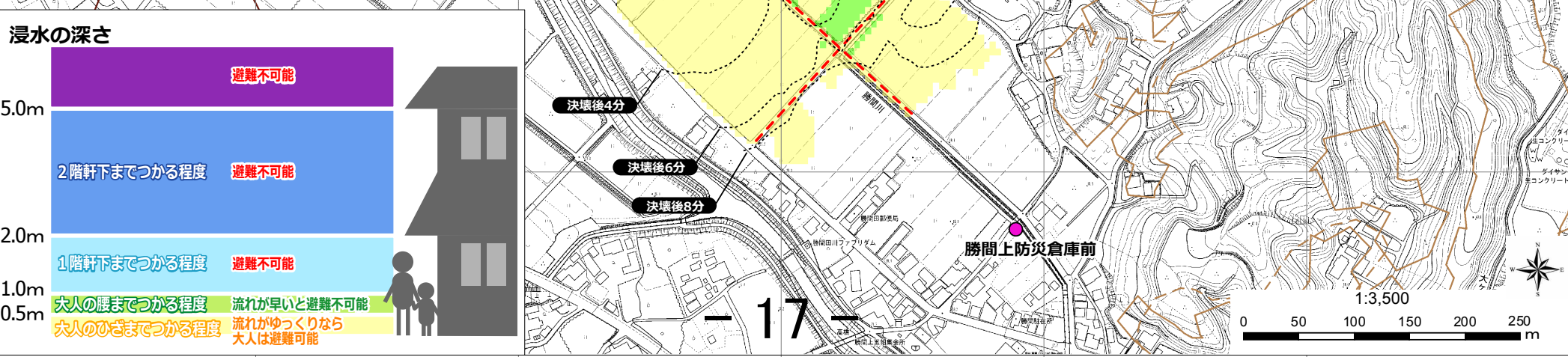
平成30年1月作成

このマップは、新西ノ谷池・古池・古池奥池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 決壊した水の到達予想時間
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 土石流危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)

浸水の深さ



浸水深マップ 智生寺池

平成30年1月作成

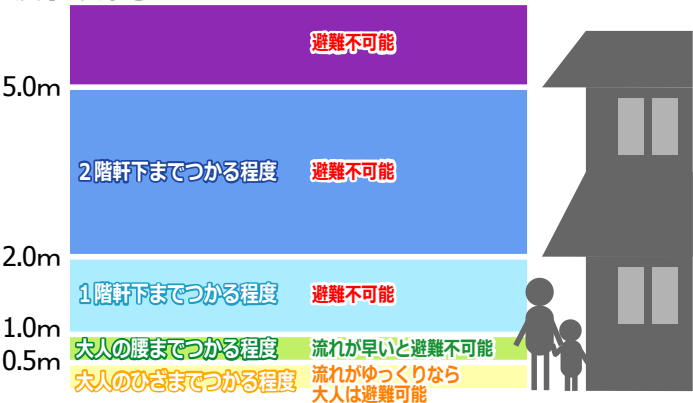
このマップは、智生寺池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 決壊した水の到達予想時間

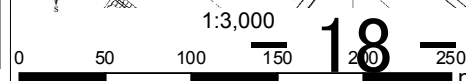
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 土石流危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)
- 山腹崩壊危険地区 (平成20年3月現在)

浸水の深さ



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら → マップの浸水範囲外に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。



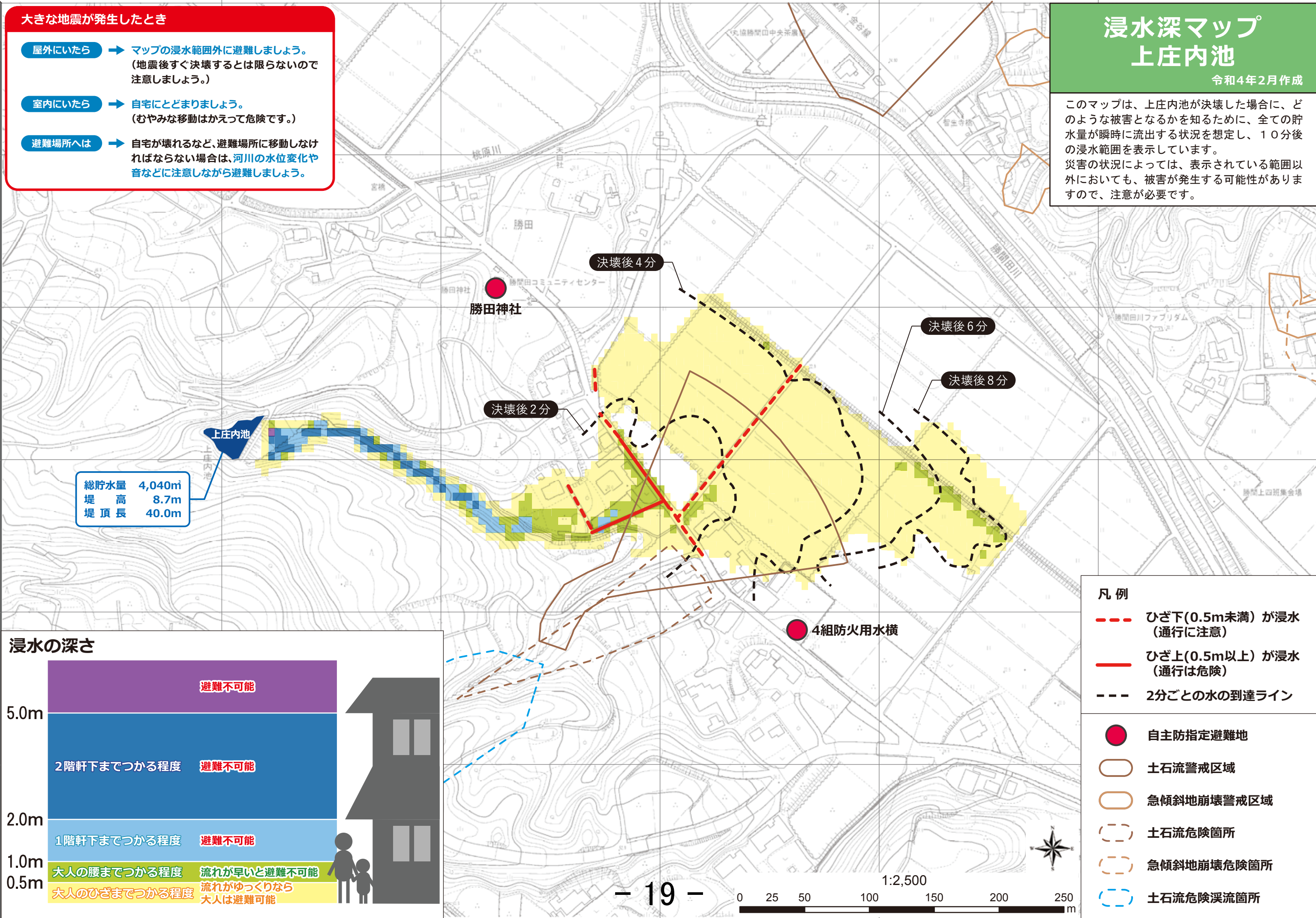
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、**河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。**

**浸水深マップ
上庄内池**

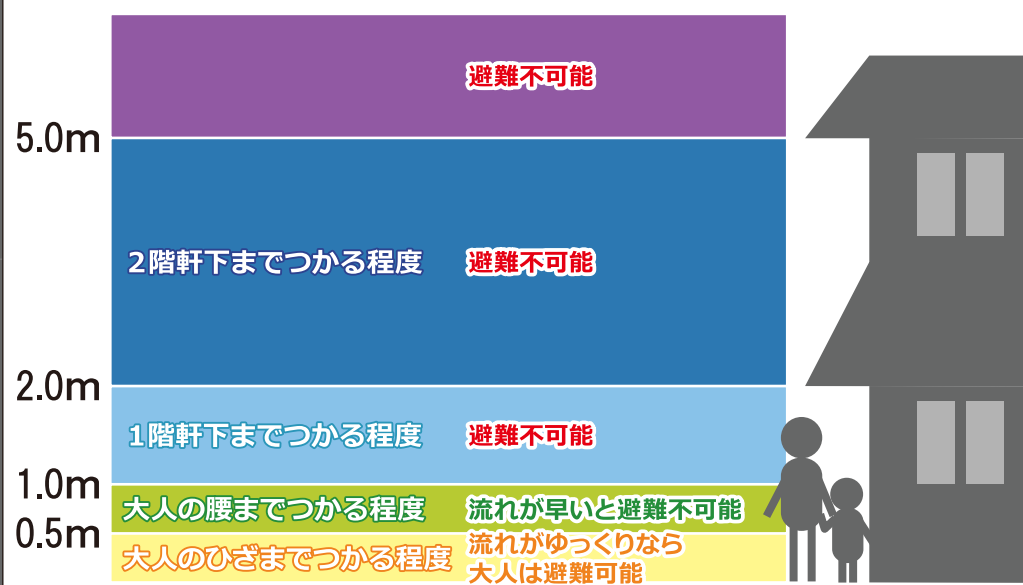
令和4年2月作成

このマップは、上庄内池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



総貯水量 4,040m³
堤高 8.7m
堤頂長 40.0m

浸水の深さ



凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 2分ごとの水の到達ライン
- 自主防指定避難地
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域
- 土石流危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険溪流箇所

浸水深マップ 沢川池

令和4年2月作成

このマップは、沢川池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所へ移動しなければならない場合は、**河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。**

総貯水量 7,800m³
堤高 7.9m
堤頂長 60.5m

沢川池

決壊後2分

決壊後4分

決壊後6分

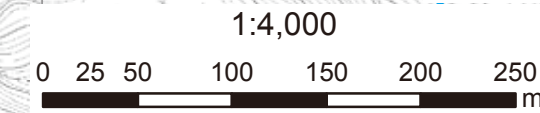
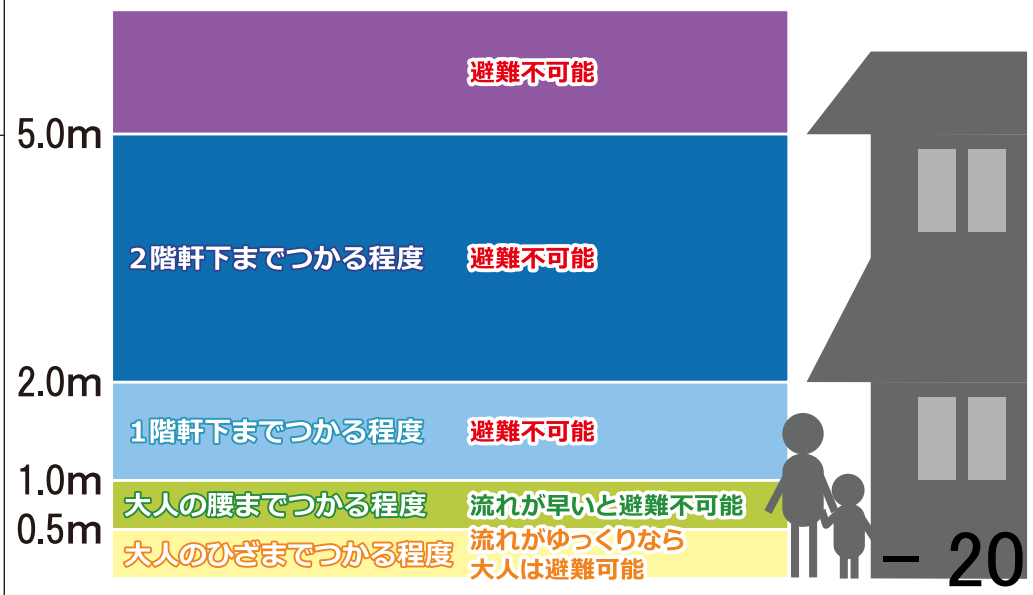
決壊後8分

4組防火用水横

- 凡例**
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
 - 2分ごとの水の到達ライン

- 自主防指定避難地
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地崩壊警戒区域
- 土石流危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険溪流箇所

浸水の深さ



ため池ハザードマップ

もんばらいちいけ
桃原一池

令和3年1月作成

このマップは、桃原一池が決壊した場合に、どのような被害となるか知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定して解析した結果を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

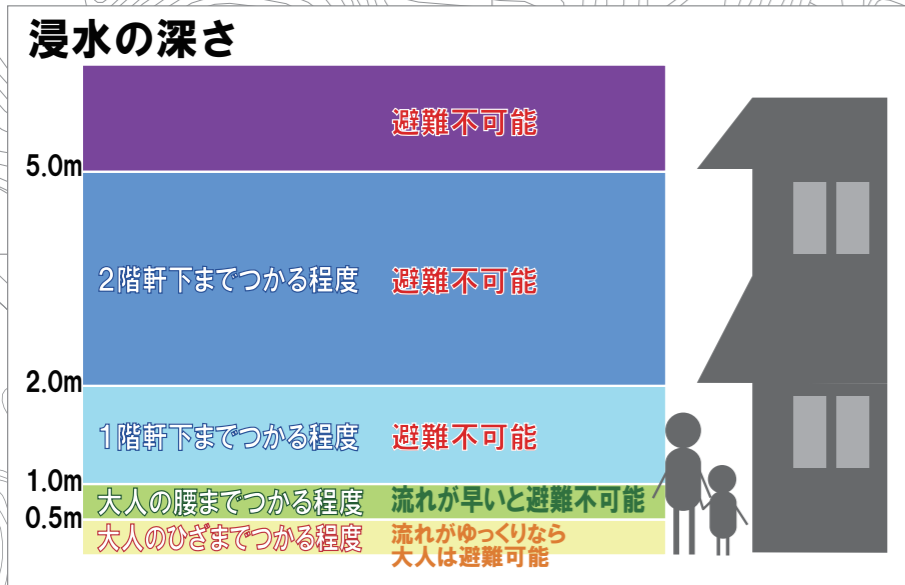
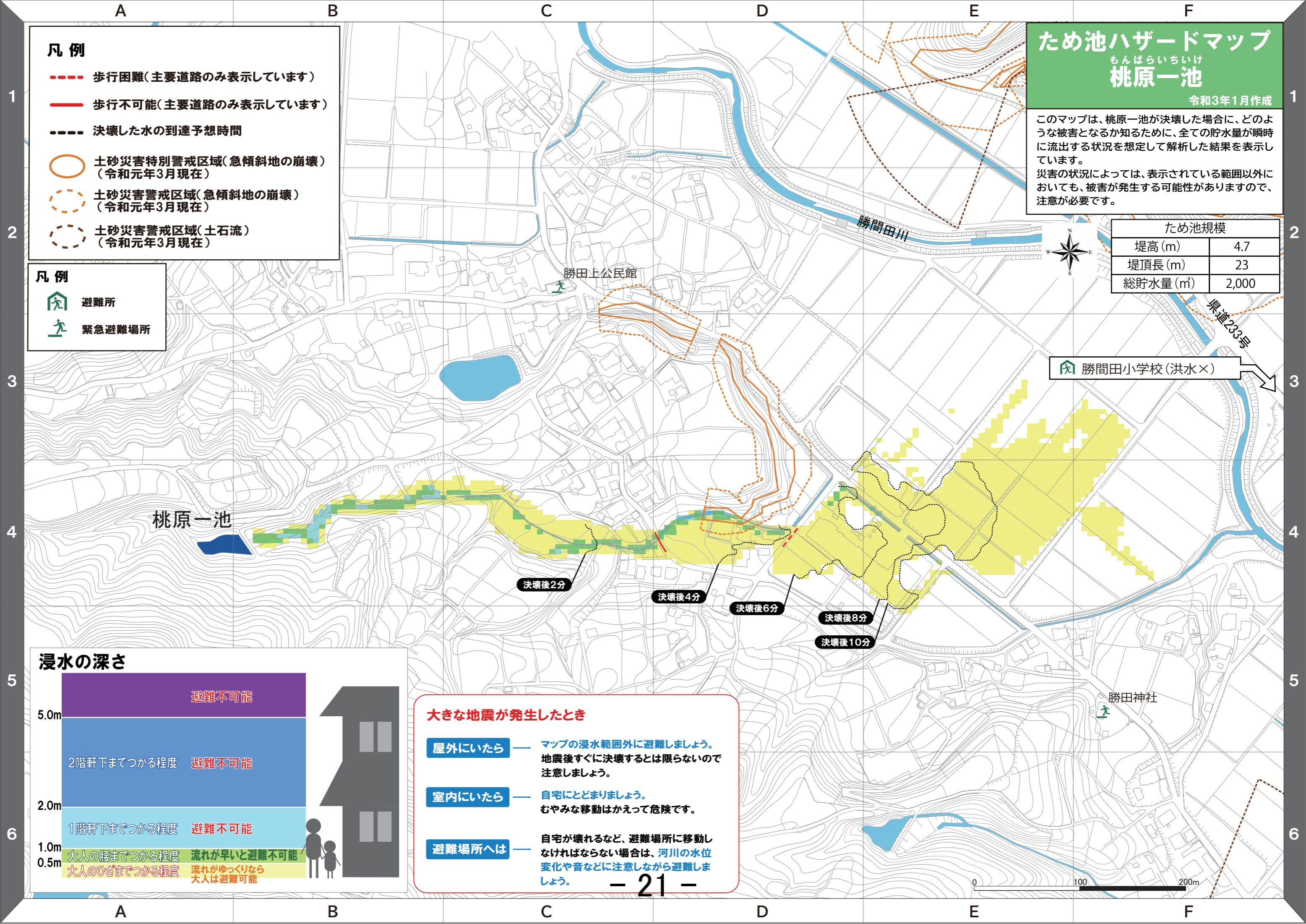
ため池規模	
堤高(m)	4.7
堤頂長(m)	23
総貯水量(m ³)	2,000

凡例

- 歩行困難(主要道路のみ表示しています)
- 歩行不可能(主要道路のみ表示しています)
- 決壊した水の到達予想時間
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
- 土砂災害警戒区域(土石流)(令和元年3月現在)

凡例

- 🏠 避難所
- 🚶 緊急避難場所



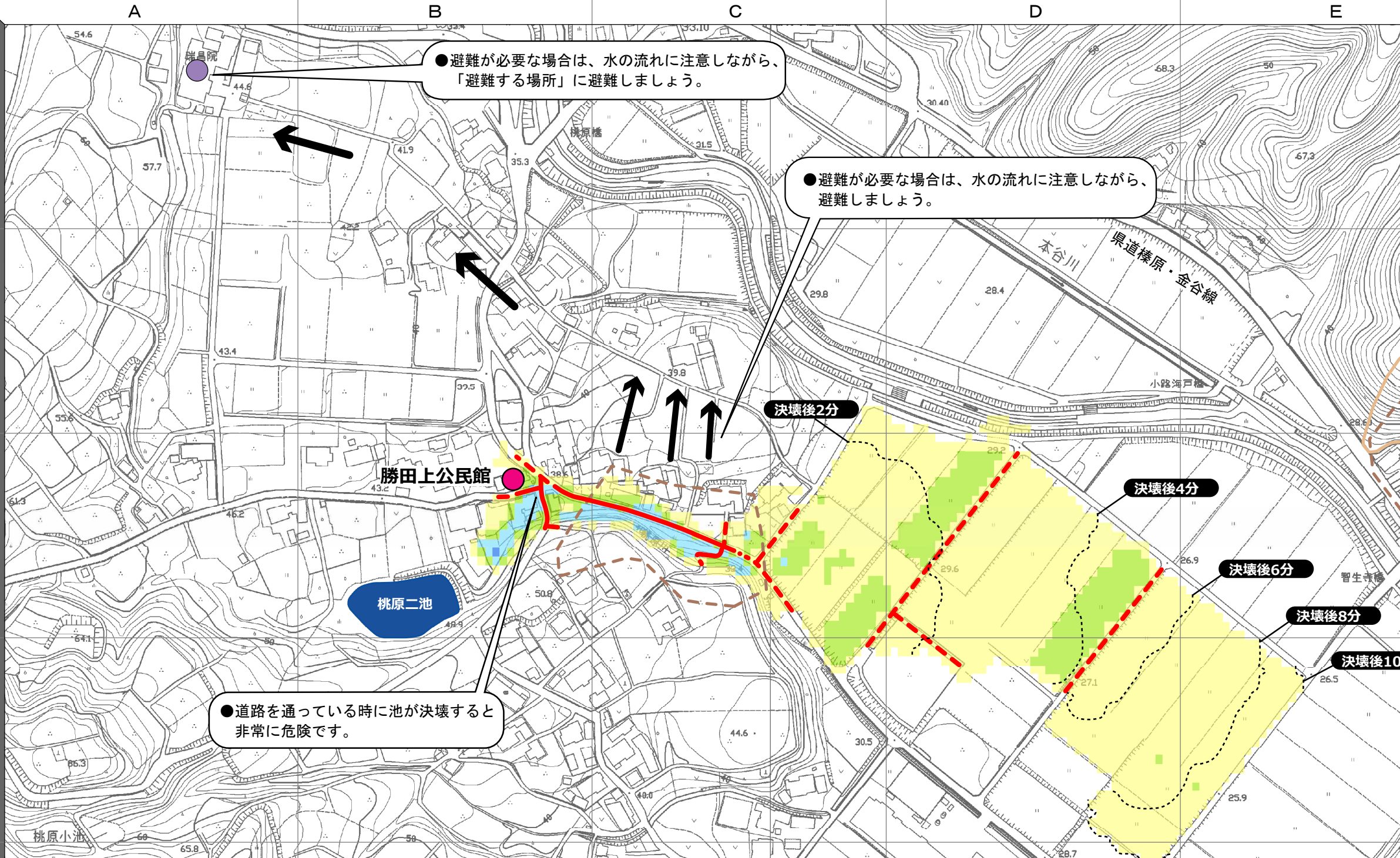
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** — マップの浸水範囲外に避難しましょう。地震後すぐに決壊するとは限らないので注意しましょう。
- 室内にいたら** — 自宅にとどまりましょう。むやみな移動はかえって危険です。
- 避難場所へは** — 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 桃原二池

平成27年1月作成

このマップは、桃原二池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



●避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、「避難する場所」に避難しましょう。

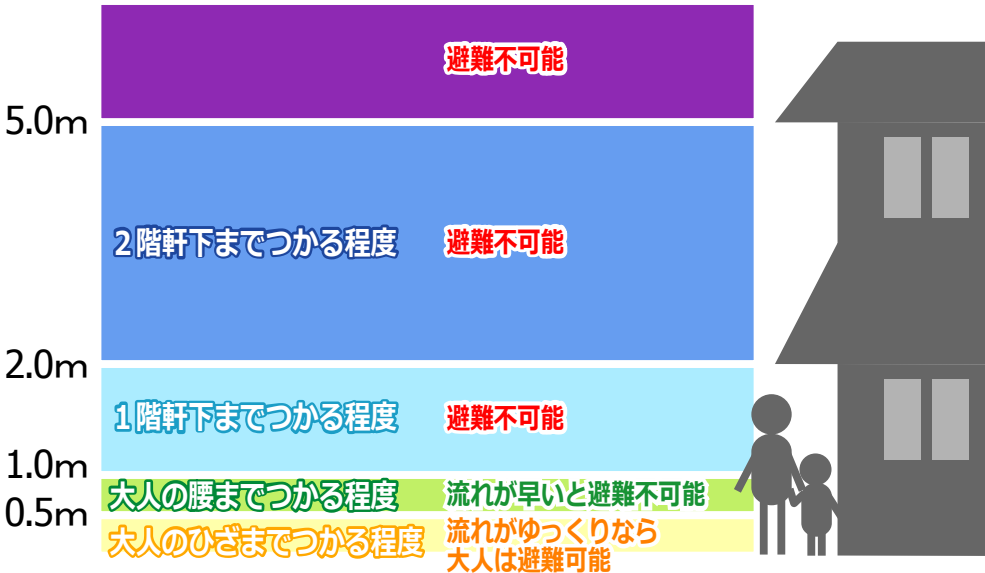
●避難が必要な場合は、水の流れに注意しながら、避難しましょう。

●道路を通っている時に池が決壊すると非常に危険です。

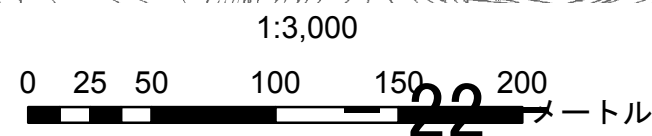
大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら → マップの避難方向に避難しましょう。(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら → 自宅にとどまりましょう。(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水の深さ



- 凡例**
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
 - ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
 - 避難方向
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 自主防指定避難地 (平成27年1月現在)
 - 避難する場所 (ため池決壊時)
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 山腹崩壊危険地区 (平成26年3月現在)



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 本谷池

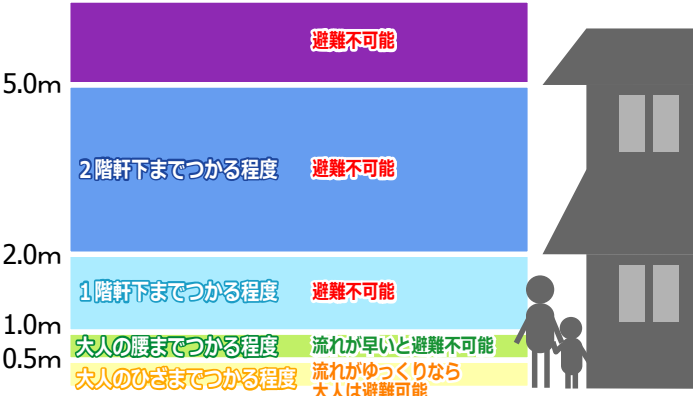
平成30年1月作成

このマップは、本谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

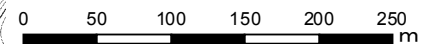
凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- 決壊した水の到達予想時間
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成28年2月現在)
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)

浸水の深さ



1:3,500



ため池ハザードマップ

あらいけ
荒谷池

令和2年12月作成

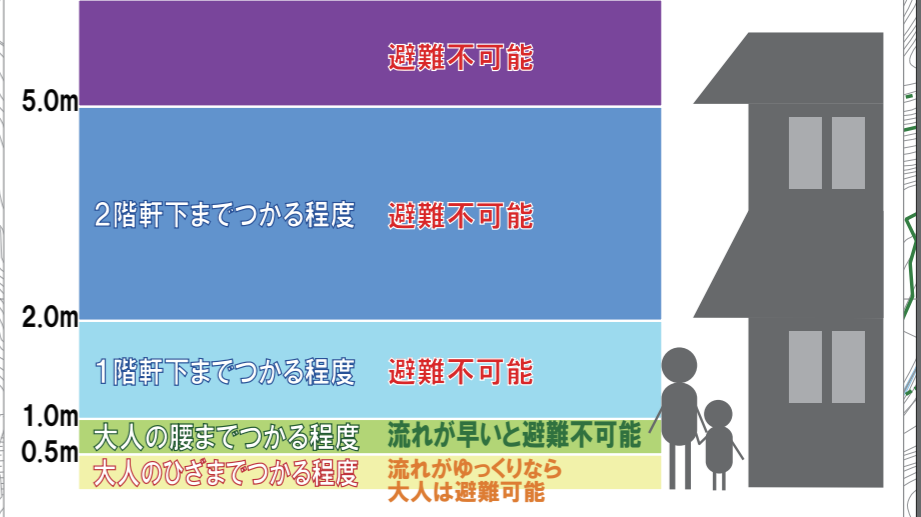
このマップは、荒谷池が決壊した場合に、どのような被害となるか知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定して解析した結果を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

ため池規模	
堤高(m)	7.3
堤頂長(m)	31
総貯水量(m ³)	5,000

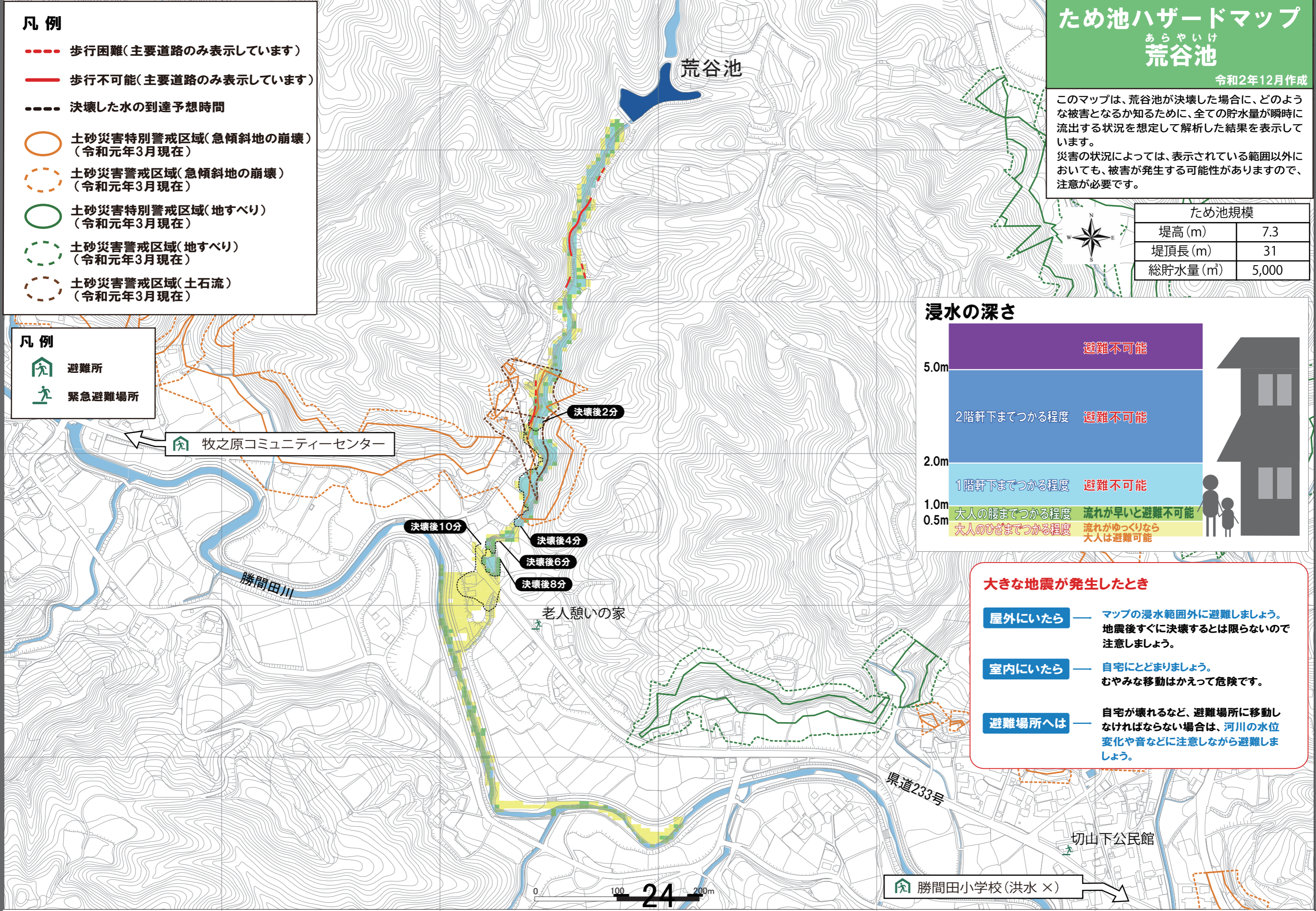
- 凡例**
- 歩行困難(主要道路のみ表示しています)
 - 歩行不可能(主要道路のみ表示しています)
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
 - 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)(令和元年3月現在)
 - 土砂災害特別警戒区域(地すべり)(令和元年3月現在)
 - 土砂災害警戒区域(地すべり)(令和元年3月現在)
 - 土砂災害警戒区域(土石流)(令和元年3月現在)

- 凡例**
- 🏠 避難所
 - 🚶 緊急避難場所

浸水の深さ



- 大きな地震が発生したとき**
- 屋外にいたら** — マップの浸水範囲外に避難しましょう。地震後すぐに決壊するとは限らないので注意しましょう。
 - 室内にいたら** — 自宅にとどまりましょう。むやみな移動はかえって危険です。
 - 避難場所へは** — 自宅が壊れるなど、避難場所へ移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。



浸水深マップ 千頭ヶ谷池

平成30年1月作成

このマップは、千頭ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

--- ひざ下(0.5m未満)が浸水
(通行に注意)

— ひざ上(0.5m以上)が浸水
(通行は危険)

..... 決壊した水の到達予想時間

○ 市指定の避難所

● 自主防指定避難地
(平成29年4月現在)

○ 土石流警戒区域
○ 急傾斜地崩壊警戒区域
(平成28年2月現在)

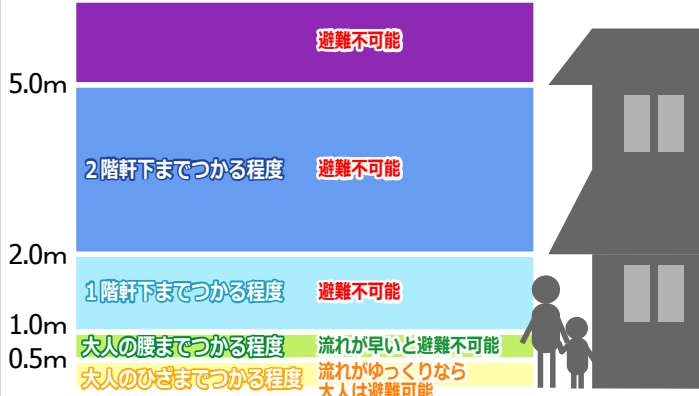
○ 土石流危険箇所
○ 急傾斜地崩壊危険箇所
(平成27年8月現在)

○ 山腹崩壊危険地区
(平成20年3月現在)

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならぬ場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水の深さ



大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

浸水深マップ 池ヶ谷池

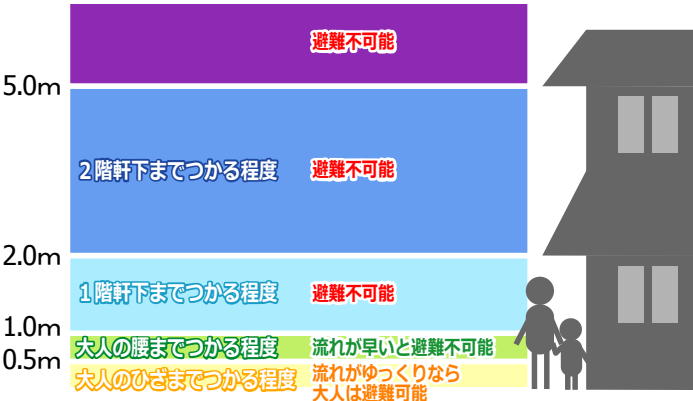
平成30年1月作成

このマップは、池ヶ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- ひげ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひげ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
-** 決壊した水の到達予想時間
- 自主防指定避難地 (平成29年4月現在)
- 土石流警戒区域 (平成28年2月現在)
- 急傾斜地崩壊警戒区域 (平成27年8月現在)
- 土石流危険箇所 (平成27年8月現在)
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (平成27年8月現在)
- 山腹崩壊危険地区 (平成20年3月現在)

浸水の深さ



大きな地震が発生したとき

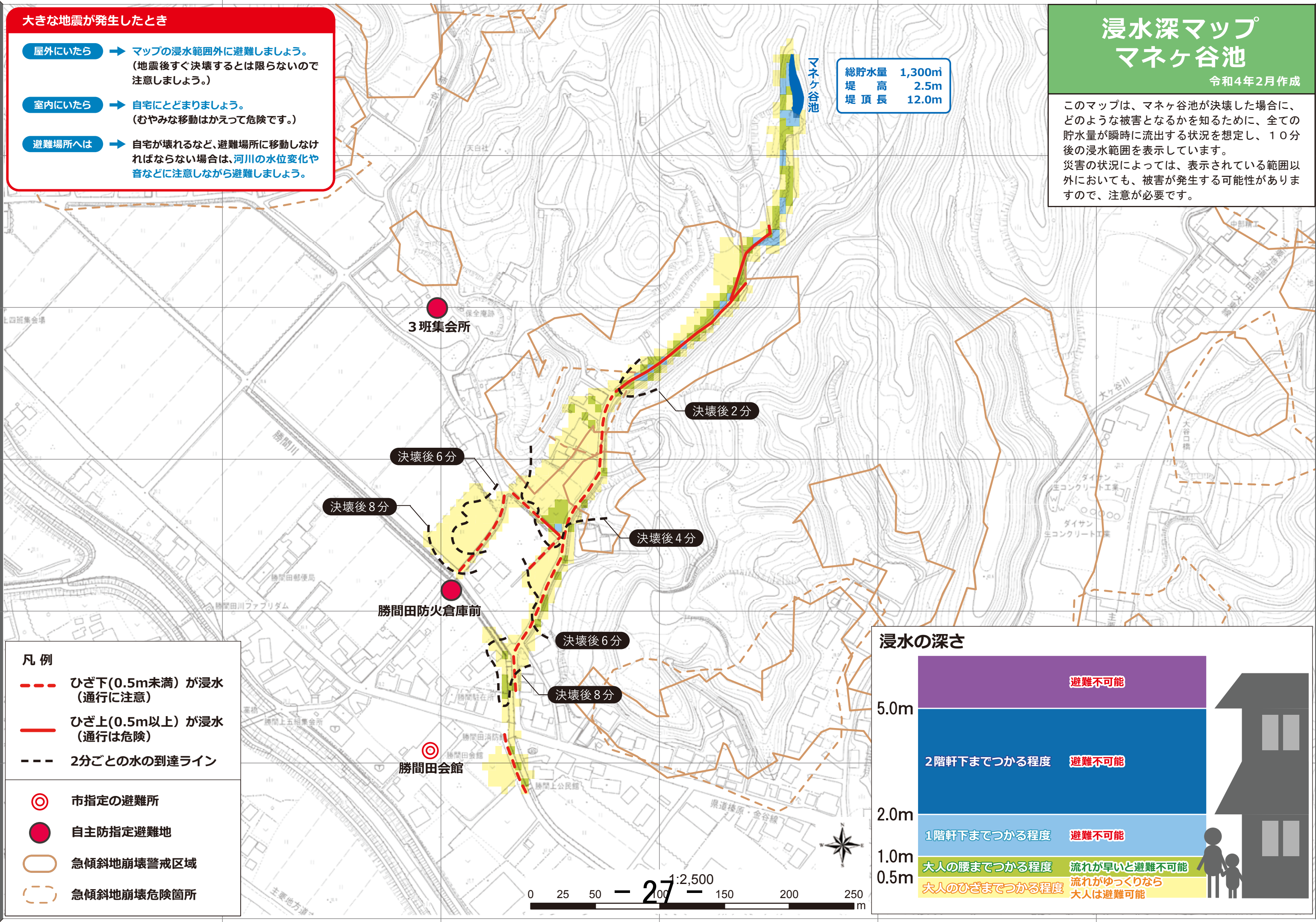
- 屋外にいたら** → マップの浸水範囲外に避難しましょう。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので注意しましょう。)
- 室内にいたら** → 自宅にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、**河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。**

浸水深マップ マネケ谷池

令和4年2月作成

このマップは、マネケ谷池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、10分後の浸水範囲を表示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

総貯水量 1,300m³
堤 高 2.5m
堤 頂 長 12.0m



凡例

- ひざ下(0.5m未満)が浸水 (通行に注意)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 (通行は危険)
- - - 2分ごとの水の到達ライン

- ◎ 市指定の避難所
- 自主防指定避難地
- 急傾斜地崩壊警戒区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所

浸水の深さ

